

消防年報

令和4年版

南但消防本部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び令和3年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、令和4年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

令和4年6月

南但消防本部



南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
令和3年度中の主要行事	10
おもな出来事	12
一目統計	14

【概要編】

管理	16
予防	17
災害活動の概要	
火災	18
救急	20
救助	22
通信	24

【統計資料編】

管理編

令和3年度予算状況	27
令和3年度職員給与費等の実態	27
階級別勤続年数	28
年齢別職員構成	28
研修派遣状況	29
階級別資格取得状況	30
消防相互応援協定等の締結状況	31

予防編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）	33
防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）	34
確認申請処理状況	35
消防教室実施状況	35
危険物施設数及び立入検査回数	36
危険物施設設置許可及び変更許可の状況	36
市別・数量別危険物施設数	37
市別・類別危険物施設数	37
各種届出等受理状況	38

警防編

火災

年次別火災発生状況	4 0
月別火災発生状況	4 2
曜日別火災発生状況	4 2
時間別火災発生状況	4 3
使用した消防水利	4 3
覚知から現場到着までの所要時間	4 4
放水開始から鎮火までの所要時間	4 4
出火原因	4 5
用途別火災発生状況	4 6

救急

年次別救急発生状況	4 7
月別救急発生状況	4 8
曜日別救急発生状況	4 9
時間別救急発生状況	5 0
覚知から現場到着までの所要時間状況	5 1
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	5 1
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	5 2
救急隊の行った主な応急処置状況	5 2
事故種別・収容医療機関状況	5 3
地域別・収容医療機関状況	5 3
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	5 4
普通救命講習実施状況	5 4

救助

年次別救助発生状況	5 5
月別救助発生状況	5 6
曜日別救助発生状況	5 7
時間別救助発生状況	5 8
事故種別・傷病程度別状況	5 9

通信

年次別 119 番受信状況	6 0
---------------	-----

装備

消防用機器の配置状況	6 1
------------	-----

各種団体

消防団組織図	6 3
協力団体組織図	6 4

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

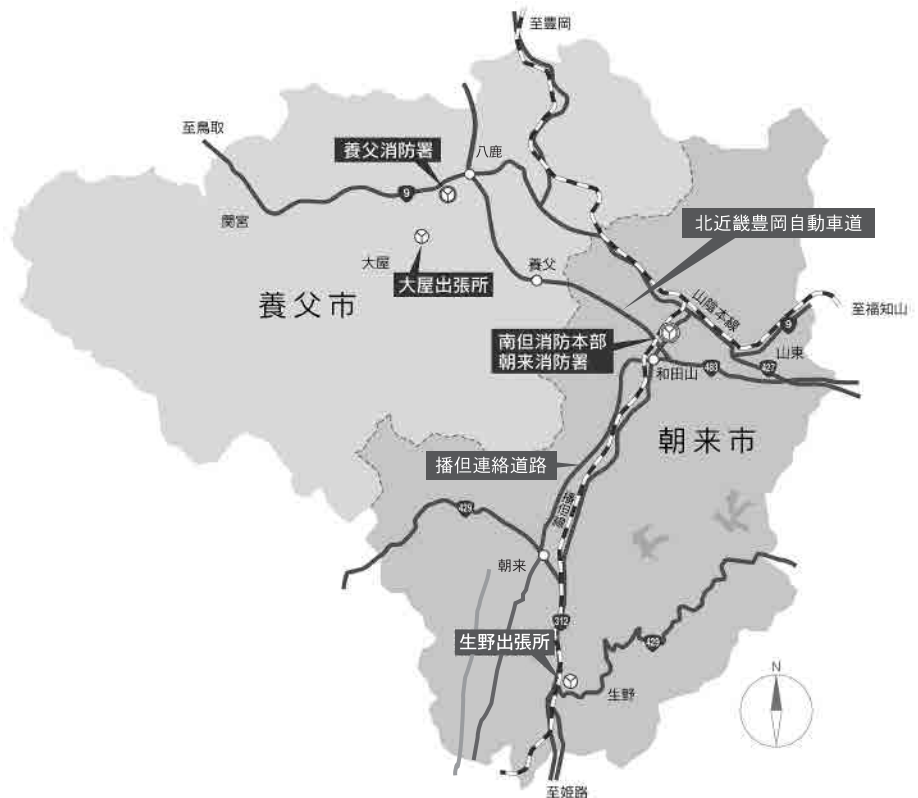
南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号及び427号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、国道312号に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号に沿ってJR山陰本線が通っています。平成29年3月に北近畿豊岡自動車道の八鹿氷ノ山IC～日高神鍋高原IC間が開通するなど、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、さらに、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。

平成29年4月28日、文化庁により地域の歴史遺産や文化財の魅力を伝えるストーリーを認定する「日本遺産」に、養父市・朝来市を含む6市町共同で申請した『播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道』が正式に認定されました。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（km ² ）
養父市	22,177	9,236	422.91
朝来市	28,971	12,245	403.06
合計	51,148	21,481	825.97

令和4年3月31日現在 住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市

「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



【市章】

三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】 ミズバショウ

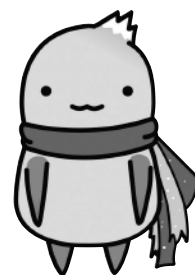
【市木】 ブナ

【主な産業・経済】

大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山（兵庫県最高峰）、天滝（日本の滝100選）
明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔
全日本ビバホールチェロコンクール



【養父市イメージキャラクター】

やっぶー

朝来市

「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



【市章】

朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】 さくら

【市木】 けやき

【主な産業・経済】

金属製品製造業、金属バネ工業、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡（日本100名城）、茶すり山古墳（近畿最大円墳）
生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園
神子畑鉄橋（日本最古の全鉄橋）



【朝来市マスコットキャラクター】

ちゃすりん

消防本部・消防署の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田436番地 1

【建築年月】

昭和51年12月（平成16年 9 月耐震化工事完了）
（平成28年 9 月駐車場修繕工事完了）

【敷地面積】

2,651.40㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建



消防署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳173番地

【建築年月】

昭和53年12月（平成26年12月耐震化工事完了）
（平成30年 7 月駐車場舗装修繕工事完了）

【敷地面積】

1,368.81㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



出張所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷222番地 1

【建築年月日】

昭和52年11月

【敷地面積】

585.55㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見549番地

【建築年月】

昭和54年12月
（平成26年 8 月耐震化（事務所棟建替）工事完了）

【敷地面積】

751.93㎡

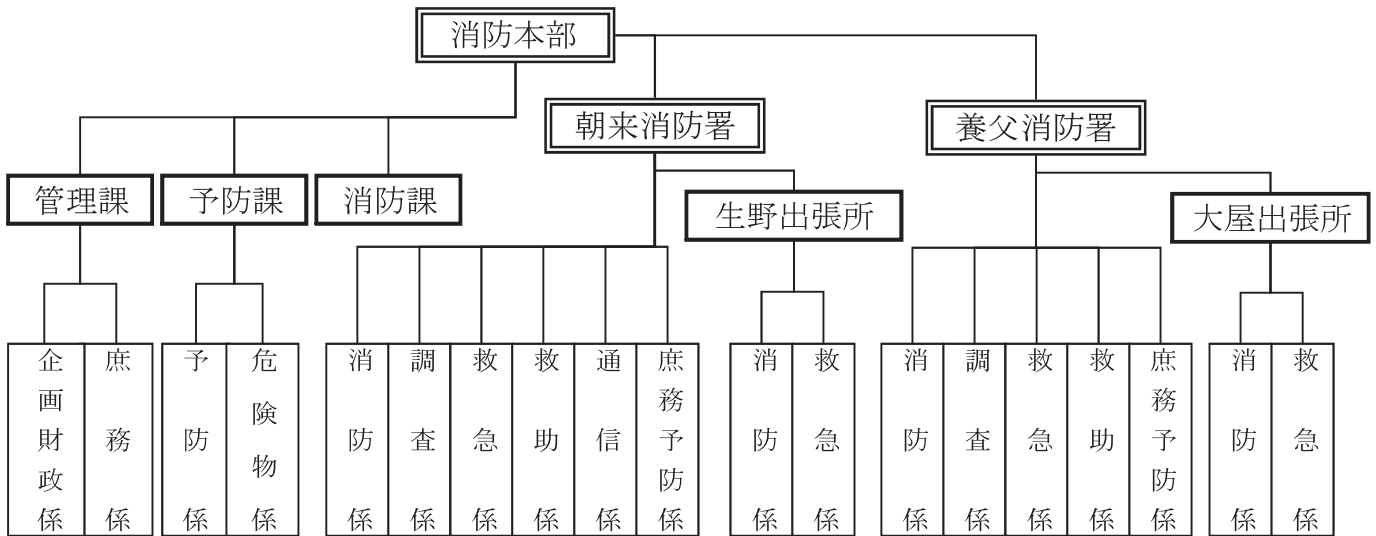
【構造】

鉄骨造 2階建



南 但 消 防 本 部 組 織

(令和4年4月1日現在)



階 級 別 職 員 配 置 状 況

(令和4年4月1日現在)

区 分		消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長 消 防 士	計
消防本部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	管 理 課		2	2	1	3	8
	予 防 課		4	1	2	1	8
	消 防 課		6	3	1		10
朝来消防署	署 長		(1)				(1)
	副 署 長		1 (3)				1 (3)
	庶務予防係		(2)	(3)	(3)	(1)	(9)
	第 一 部		1 (2)	3 (2)	2 (1)	5 (1)	11 (6)
	第 二 部		(3)	2 (4)	2 (2)	4	8 (9)
	生野出張所 所長		1				1
	生野出張所 第一部		(1)	3	1		4 (1)
生野出張所 第二部			3	1	1	5	
養父消防署	署 長		1				1
	副 署 長		(1)				(1)
	庶務予防係		(1)	3			3 (1)
	第 一 部		3	3 (1)	3	3	12 (1)
	第 二 部		3	3 (1)	2	4	12 (1)
	大屋出張所 所長		1				1
	大屋出張所 第一部		(1)	1	2	1	4 (1)
大屋出張所 第二部			2	2	1	5	
計		1	24 (15)	29 (11)	19 (6)	23 (2)	96 (34)

※ () は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(令和4年3月31日現在)

種 別		メーカー	導入年度	経過年数	エンジン	
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成30年	3年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	令和元年	2年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車15m級	日野	平成28年	5年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成29年	4年	ディーゼル
	5	高規格救急自動車	トヨタ	平成24年	9年	ガソリン
	6	高規格救急自動車	トヨタ	令和3年	一年	ガソリン
	7	高規格救急自動車	トヨタ	平成26年	7年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	令和3年	一年	ディーゼル
	9	指揮支援車	日産	平成21年	12年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年	10年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年	12年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年	12年	ハイブリット
生野出張所	13	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	日野	平成30年	3年	ディーゼル
	14	高規格救急自動車	トヨタ	平成29年	4年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年	9年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年	11年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	三菱	令和3年	一年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年	15年	ディーゼル
	4	高規格救急自動車	トヨタ	平成25年	8年	ガソリン
	5	高規格救急自動車	トヨタ	令和元年	2年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年	14年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年	12年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年	8年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型	トヨタ	平成23年	10年	ディーゼル
	10	高規格救急自動車	トヨタ	平成30年	3年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年	8年	ガソリン

沿 革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足（記念式典及び消防本部旗授与式挙行4/1） 消防吏員4名を採用（条例定数98名） 県下広域を含めて各消防応援協定を締結（詳細は31頁に掲載）
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN119だより」創刊号を発行
11月	公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員7名を採用（条例定数98名）
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施（南但消防本部） 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備
4月	消防吏員7名（うち1名、初の女性消防吏員）を採用（条例定数98名）
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	消防救急デジタル無線試験運用開始
4月	消防救急デジタル無線正式運用開始 消防吏員5名を採用（条例定数98名） 熊本地震緊急消防援助隊派遣（4/16～4/22 救急小隊、後方支援隊 延べ12名を派遣）
8月	第45回全国消防救助技術大会に南但消防本部として初出場
9月	朝来消防署アスファルト舗装修繕工事完了
11月	15mはしご付消防自動車を更新し朝来消防署に配備
平成29年 4月	消防吏員2名（うち1名、初の女性救急救命士）を採用（条例定数98名）
9月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）
11月	第26回全国救急隊員シンポジウム事例発表（千葉市）
12月	第6回全国消防職員剣道大会：女子個人の部第3位
平成30年 3月	救助工作車を更新し朝来消防署に配備（緊急消防援助隊 救助小隊に登録）
4月	消防吏員6名を採用（条例定数98名）
7月	平成30年7月豪雨 緊急消防援助隊派遣（7/18～7/20 救助小隊を派遣） 養父消防署駐車場アスファルト舗装修繕工事完了
11月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市、朝来市）
平成31年 1月	第27回全国救急隊員シンポジウム事例発表（高松市）
3月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備 消防ポンプ自動車を更新し生野出張所に配備
4月	消防吏員3名を採用（条例定数98名）
令和 元年 6月	G20大阪サミット特別警戒に救急隊を派遣
8月	第48回全国消防救助技術大会（基本泳法の部）に出場し入賞

	1 1 月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）
	1 2 月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備
令和 2 年	1 月	消防ポンプ自動車を更新し朝来消防署に配備
	4 月	消防吏員 3 名を採用（条例定数 98 名）
	1 1 月	住宅密集地火災防ぎょ訓練（養父市）
令和 3 年	4 月	消防吏員 4 名を採用（条例定数 98 名） 高機能消防指令センターを更新し運用開始
	1 2 月	消防ポンプ自動車を更新し養父消防署に配備 高規格救急自動車を更新し朝来消防署に配備

2 旧朝来市消防本部の沿革

年	月	記 事
昭和 5 1 年	4 月	朝来郡広域消防事務組合消防本部（署）を設置（新規採用 18 名を含む 20 名で消防業務開始）
	1 0 月	初任科研修を修了した消防士 15 名を配置し、消防業務全般を開始
	1 2 月	和田山町枚田 436 番地 1 に消防本部庁舎竣工、移転
昭和 5 2 年	1 月	消防用無線電話開局
	4 月	消防吏員 14 名を採用
	1 1 月	生野町口銀谷 222 番地 1 に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員 9 名を配置し消防業務開始
昭和 5 3 年	1 月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
	4 月	消防吏員 9 名を採用（条例定数 43 名）。消防専用電話 119 番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
昭和 5 4 年	3 月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和 5 5 年	1 1 月	広報紙「119 だより」創刊号を発行
	1 2 月	救急指令装置 C 型を整備
昭和 5 6 年	4 月	兵庫県救急医療情報システムを導入
	8 月	第 10 回全国消防救助技術大会に初出場
昭和 5 7 年	2 月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
	8 月	第 11 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
昭和 5 8 年	6 月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
	8 月	第 12 回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場
昭和 5 9 年	8 月	第 13 回全国消防救助技術大会に 4 年連続出場
昭和 6 0 年	1 月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和 6 1 年	6 月	河川情報システムを運用開始
	8 月	第 15 回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
昭和 6 2 年	8 月	第 16 回全国消防救助技術大会に 2 年連続出場
平成 2 年	3 月	消防訓練塔（15m 主訓練塔及び補助訓練塔）が完成
	4 月	緊急通報システム運用開始
	1 0 月	第 38 回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 5 年	4 月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
平成 6 年	2 月	消防緊急通信指令施設運用開始
	4 月	救急救命士養成所に職員 1 名を初めて派遣（神戸市 前期）
平成 7 年	4 月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8 年	6 月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」

		に変更。消防本部発足 20 周年記念式典挙行
平成 9 年	9 月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
	3 月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
	6 月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成 11 年	8 月	第 28 回全国消防救助技術大会に 12 年ぶりに出場
平成 12 年	8 月	第 29 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
平成 14 年	3 月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員 1 名を隊員派遣
平成 15 年	8 月	第 32 回全国消防救助技術大会に 3 年ぶりに出場
平成 16 年	9 月	消防本部庁舎耐震化工事完了
平成 17 年	3 月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4 月	朝来市消防本部誕生(朝来郡 4 町が合併し朝来市が誕生)
	1 1 月	携帯電話からの 119 番通報を直接受信開始
平成 18 年	8 月	第 35 回全国消防救助技術大会に 3 年ぶりに出場
	1 2 月	第 9 回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞
平成 19 年	2 月	高機能消防指令センター運用開始
	6 月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
	8 月	第 36 回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
	1 2 月	第 10 回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成 20 年	8 月	第 37 回全国消防救助技術大会に 3 年連続で出場
平成 23 年	8 月	消防広域化協議会発足式開催
平成 24 年	8 月	第 41 回全国消防救助技術大会に 4 年ぶりに出場
		養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
平成 25 年	3 月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年	月	記	事
昭和 53 年	4 月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用 19 名を含む 24 名で消防業務開始)	
	1 0 月	初任科研修を修了した消防士 18 名を配置し、消防業務全般を開始	
	1 2 月	八鹿町高柳 173 番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話 119 番・農協有線電話 0119 番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局	
昭和 54 年	4 月	消防吏員 7 名を採用	
昭和 54 年	1 2 月	大屋町樽見 549 番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員 8 名を配置し消防業務開始	
昭和 55 年	3 月	八鹿町高柳 313-10 番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置	
	4 月	消防吏員 5 名を採用(条例定数 35 名)	
	6 月	養父町建屋婦人防火クラブ結成	
昭和 56 年	8 月	消防本部書庫及び車庫増築	
	1 1 月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成	
	1 2 月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立	
昭和 57 年	3 月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成	
	6 月	大屋町婦人防火クラブ結成	
	8 月	消防訓練場に水防倉庫完成	
昭和 61 年	1 月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成	

昭和63年	4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
	8月	本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
平成元年	8月	出張所に救急消毒室を整備
平成3年	10月	緊急通報システム運用開始
平成7年	10月	救命士養成所に職員1名を初めて派遣（財団九州研修所 後期）
平成10年	6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
平成10年	12月	冬山捜索装備品整備
平成12年	12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年	12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成15年	3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
	8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
平成16年	3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する
	4月	養父市消防本部誕生（養父郡4町が合併し養父市が誕生）
	8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成17年	4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
	8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
	9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
	11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年	8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
平成20年	7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年	11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成23年	8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
平成24年	8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式（8/22）
平成25年	3月	養父市消防本部を閉庁

令和3年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	南但消防本部辞令交付式（職員採用者5名） 指令台運用開始式（於：南但消防本部） 山火事防止月間（～4/30）
4月 5日	兵庫県消防学校「初任教育」5名入校
5月 7日	養父市新型コロナ防護服着脱等訓練（於：八鹿文化会館）
5月10日	火災多発非常事態宣言発表（～6/10） （5/4 養父市において10棟が焼損する建物火災発生、5/5 朝来市において5棟が焼損する建物火災発生）
6月 3日	防災パトロール（6/3,11 於：養父市・朝来市内）
6月 6日	危険物安全週間（～6/12）
6月14日	指導救命士養成研修本研修（～6/25 於：兵庫県消防学校）
6月15日	水難救助訓練（6/15,16 於：山東町金浦調整池・国木プラント付近円山川）
6月18日	播但警防担当者会議（書面会議）
6月28日	朝来市感染防護具取扱い研修（6/28,29 於：朝来市役所）
6月29日	航空隊合同林野火災対応訓練（於：大路ダム）
7月 9日	キャリアトークカフェ（於：和田山高校）
7月26日	兵庫県消防学校「潜水科」1名入校（～7/30）
7月29日	危険物安全協会合同表彰式（於：和田山ホテル）
7月30日	航空隊合同水難救助訓練（於：養父市八鹿町宿南 円山川河川敷）
8月 3日	播但地区予防担当者会議（書面会議）
9月 1日	救急救命士養成課程1名入校（於：兵庫県消防学校）
9月 5日	養父市一斉避難訓練
9月13日	但馬3消防ヘリ・カー症例検討会（WEB 会議）
9月24日	防火ポスター審査会（於：南但消防本部）
9月25日	初任教育査閲（於：兵庫県消防学校）
9月28日	第86期初任教育卒業式（於：兵庫県消防学校） 北近畿豊岡自動車道現地調査・訓練（9/28,29）
10月 4日	兵庫県消防学校「予防査察科」1名入校（～10/15）
10月 5日	山岳救助訓練（10/5,6 於：杉ヶ沢高原）
10月19日	甲種防火管理新規講習（10/19,20 於：さんとう緑風ホール・南但消防本部）
10月20日	キャリアトークカフェ（於：和田山高校） 兵庫県消防学校「火災調査科」1名入校（～11/2）
10月22日	安全運転管理者講習会（於：和田山ジュピターホール）
10月25日	朝来市トライやる・ウィーク（～10/29）
10月28日	生野工業団地保安連絡会議（於：ジャパンパウダー塗料製造株）
11月 2日	兵庫県消防学校「救助科」1名入校（～12/3）
11月11日	旅館・ホテル防火研修会（於：南但消防本部）
11月14日	養父市消防団養父方面隊合同訓練（於：養父市中米地 八柱神社付近）
11月15日	養父市トライやる・ウィーク（～11/17）
11月16日	キャリアトークカフェ（於：生野高校）
11月17日	近畿ブロック女性防火クラブ幹部地域研修会（於：大阪市） 緊急消防援助隊救助部隊ブリーチング訓練（11/17,18 於：朝来市和田山町加都地内）
11月25日	緊急消防援助隊救助部隊CSR 訓練（11/25,30 於：養父消防署訓練場）

月 日	内 容
11月28日	緊急車両運転者特別研修（～11/29 於：はりま交通研修センター）
12月 5日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（於：兵庫県広域防災センター）
12月 6日	兵庫県消防学校「初級幹部科」1名入校（～12/17）
12月13日	兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会研修会（於：兵庫県広域防災センター）
12月14日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（於：兵庫県広域防災センター）
12月15日	年末年始特別警戒（前期 12/15～12/24、後期 12/25～1/3）
12月20日	兵庫県消防学校「通信指令科」1名入校（～12/24） 朝来消防署高規格救急自動車更新 養父消防署CD-1型消防ポンプ自動車更新
12月21日	緊急自動車運転者講習（～12/24 於：全但自動車教習所跡地）
1月11日	兵庫県消防学校「災害現場指揮科」入校（～1/13）
1月12日	令和4年消防出初式（於：南但消防本部）
1月13日	緊急消防援助隊救助部隊ブリーチング訓練（1/13, 14, 17, 18 於：旧県営枚田住宅）
1月17日	兵庫県消防学校「救急科」4名入校（～3/11）
1月23日	養父市消防団大屋方面隊文化財防火訓練（於：養父市大屋町宮垣 男坂神社周辺）
1月31日	朝来消防署外壁塗装及び女性仮眠室改修工事完了
2月24日	雪中山岳遭難救助訓練（於：養父市立全天候運動場周辺）
3月 1日	春季全国火災予防運動（～3/7）
3月13日	救急救命士国家試験（於：大阪市）
3月14日	兵庫県消防学校山岳救助器具取扱技術研修（～3/16）
3月17日	救急救命士養成課程修了式（於：兵庫県消防学校）
3月24日	朝来消防署指揮車更新
3月31日	退職者辞令交付式（退職者2名）

～ おもな出来事 ～



南但消防本部辞令交付式 (4月1日消防本部)
4月から新しく5名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



航空隊合同水難救助訓練 (6月29日)
大路ダムにて航空隊合同で水難救助訓練を実施しました。林野火災での迅速な活動及び延焼防止のため、航空隊との連携を強化しました。



防火ポスター審査会 (9月24日)
朝来市・養父市内の小学校及び中学校の児童生徒から防火ポスターを募集し審査を行いました。最優秀作品は、防火ポスターとして各事業所等に配布されました。



山岳救助訓練 (10月5日、6日)
杉ヶ沢高原にて、登山者が滑落したとの想定で訓練が実施されました。GPS等を活用した登山者の捜索、救出を行いました。



(朝来市10月25日～29日)
(養父市11月15日～17日)
トライやる・ウィーク
和田山、八鹿青溪、養父、大屋中学の2年生8名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



養父方面隊合同訓練 (11月14日)
秋の火災予防運動に伴う養父市消防団養父方面隊との合同訓練を実施しました。訓練を通じて、消防団との連携強化を図りました。

～ おもな出来事 ～



緊急消防援助隊 狭隘閉鎖空間救助訓練

(11月25日、30日)

緊急消防援助隊登録隊員が、狭隘閉鎖空間救助訓練を実施しました。狭隘空間での活動の難しさを体験し、改善点、課題等を見つけることが出来ました。



新車両導入

(12月20日)

朝来消防署の救急車、養父消防署の消防ポンプ自動車を更新しました。救急車には新型のストレッチャー、消防ポンプ自動車には電動ホースカーが配備されました。充実した資機材と現場における活動能力の向上により、あらゆる災害現場に備えていきます。



緊急自動車運転者講習

(12月21日～24日)

全但自動車教習所跡地にて、緊急自動車運転講習を実施しました。各隊員は迅速かつ安全な運転技術の習得に努め、訓練に取り組みました。



消防出初式

(1月12日)

南但消防本部発足9周年を迎えました。コロナウイルス感染予防の観点から、昨年度同様に規模を縮小し、式典と観閲のみとなりましたが、士気の高さを示しました。



ブリーチング訓練

(1月13日、14日、17日、18日)

旧県営枚田住宅にて、ブリーチング訓練を実施しました。コンクリートを破壊し、倒壊した建物への進入及び救出方法を学びました。



新車両導入

(3月24日)

朝来消防署の指揮車を更新しました。災害発生時に機動力を発揮し、迅速かつ適正な指揮体制と、効率的な消防活動を確保する目的で配備しました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世帯数
2市	825.97km ²	51,148人	21,481世帯
養父市 朝来市	養父市422.91km ² 朝来市403.06km ²	養父市 22,177人 朝来市 28,971人	養父市 9,236世帯 朝来市 12,245世帯

予 算	組 織	職員数	消防団員数
949,121千円	消防本部 1 消 防 署 2 出 張 所 2	96名	2,096名 養父市 1,141名 朝来市 955名

防火対象物	危険物施設	防火団体	
3,122棟 養父市1,484棟 朝来市1,638棟	295施設 養父市 152施設 朝来市 143施設	朝来市自主防災推進協議会 398会員 地域会員 159会員 事業所会員234会員 賛助会員 5会員	養父市幼少年婦人防火委員会 10クラブ 幼年消防クラブ 7クラブ 少年消防クラブ 2クラブ 婦人防火クラブ 1クラブ

火 災	救 急	救 助	その他
21件 【出火原因】 ①不明 ②焼却火	出動件数 2,764件 搬送人員 2,531名 【事故種別】 ①急病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 55件 救助人員 31名 【事故種別】 ①交通事故 ②建物等による事故	出動件数 870件 【種別】 ①ヘリ支援 632件 ②救急支援 170件 ③その他 68件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救急車
119番総受信回数 3,409回 緊急通報受信回数 2,515回	タンク車 1台 ポンプ車 4台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化学車 1台	高規格救急車 7台

概 要 編

凡例

統計中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0」 ……該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」 ……負数

「(空白)」 ……該当なし

管 理

1 令和3年度消防行政の推進

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、依然として国民の生活・経済・教育等のあらゆる社会活動に大きな影響を及ぼしています。このような状況のなか、消防本部では「ウィズコロナ・アフターコロナ」における業務継続について検討を進め、感染拡大防止対策を行いながら消防教室や普通救命講習、各種訓練を実施しました。



また、人材育成など職員個々の能力や資質をさらに向上させるため、消防学校を始めとした各研修機関へ25名を派遣するとともに、職場内での研修を積極的に行い、職員の能力開発に努めました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念の基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 防火対象物や危険物施設の防火・保安体制確立
- (2) 住宅防火対策及び災害弱者対策の推進
- (3) 災害現場対応力の向上
- (4) 計画的かつ適正な資機材の保守管理
- (5) 風通しの良い職場づくり

2 令和3年度当初予算

令和3年度当初予算の総額は949,121千円で、前年と比較すると高機能消防指令センター整備事業が完成したため、345,588千円の減となっています。このうち人件費は757,098千円で歳出予算総額の



79.7%を占めています。また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は109,306千円で11.5%を占め、前年比較すると330,173千円の減となっています。令和3年度は主な事業として、朝来消防署の高規格救急自動車と指揮車、養父消防署の消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新しました。

予 防

1 防火対象物の状況

令和3年度末の防火対象物は総数3,122棟で、市別では朝来市1,638棟、養父市1,484棟となっています。用途別では「その他の事業所」が737棟と最も多く約24%を占めており、続いて「工場等」(506棟)、「共同住宅等」(328棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は379件(棟数)で、防火安全上の不備欠陥事項がある対象物の関係者に対し改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

令和3年度末の危険物施設数は総数295施設で、市別では朝来市143施設、養父市152施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が85施設と最も多く約29%を占めており、続いて「一般取扱所」(55施設)、「給油取扱所」(47施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は179回で、全施設の約61%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。



朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。

(左) 秋の火災予防運動週間での旅館ホテル防火研修会の様子
(下) たいようこども園幼年消防クラブ員防火演技の様子

また、養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。



火 災

令和3年中の出火件数は21件で、前年(19件)と比較すると2件の増加となっています。

火災種別で見ると、建物火災が12件、車両火災が3件、その他の火災が6件となっています。

地域別の発生状況を見ると、朝来市内の出火件数は10件で、その内訳は、建物火災が7件、車両火災が1件、その他の火災が2件となっています。

養父市内の出火件数は11件で、その内訳は、建物火災が5件、車両火災が2件、その他の火災が4件となっています。

火災の損害は117,882千円で、前年と比較すると68,171千円増額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が1人発生しています。



火災の状況

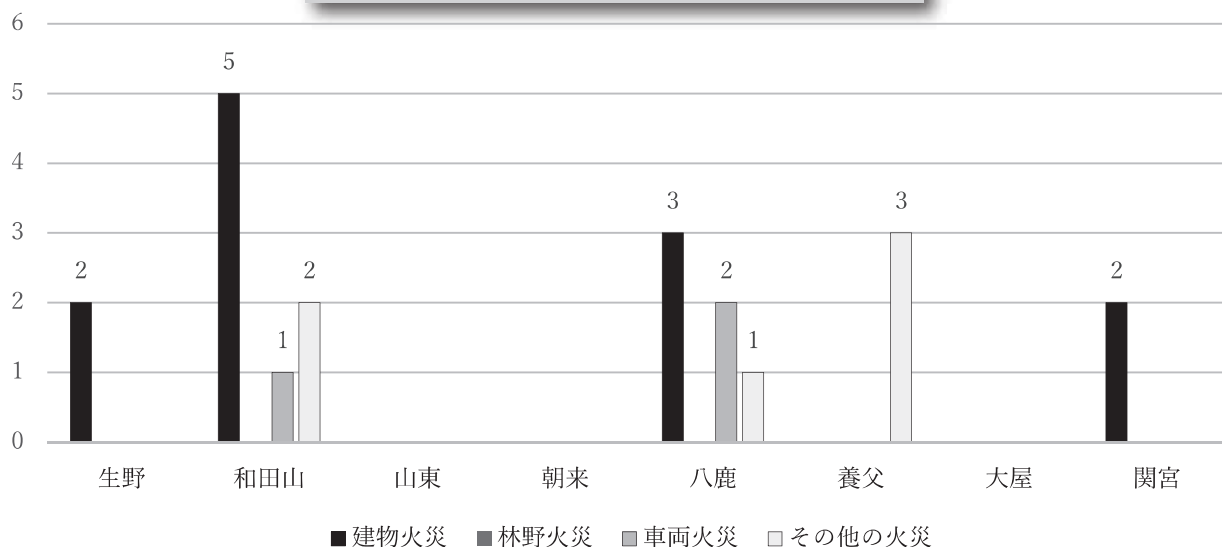
区 分		令和3年	令和2年	比較増減
出火件数	総 数	21	19	2
	建 物 火 災	12	7	5
	林 野 火 災		1	△1
	車 両 火 災	3	1	2
	そ の 他 の 火 災	6	10	△4
焼損棟数	総 数	30	9	21
	全 焼	11	2	9
	半 焼	3		3
	部 分 焼	10	2	8
	ぼ や	6	5	1
焼損面積	建 物 (m ²)	2,191	219	1,972
	林 野 (a)		1,930	△1,930
損害額(千円)	総 額	117,882	49,711	68,171
	建 物	116,613	13,247	103,366
	林 野	23	35,749	△35,726
	車 両	248	433	△185
	そ の 他	998	282	716
り 災 世 帯 数	15	3	12	
り 災 人 員	32	5	27	
死 者	1	1		
負 傷 者		4	△4	

地域別の状況

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市				
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮
出 火 件 数	総 数	21	10	2	8		11	6	3		2
	建 物 火 災	12	7	2	5		5	3			2
	林 野 火 災										
	車 両 火 災	3	1		1		2	2			
	その他の火災	6	2		2		4	1	3		
焼 損 棟 数	総 数	30	15	8	7		15	13			2
	全 焼	11	5	3	2		6	6			
	半 焼	3	3	2	1						
	部 分 焼	10	4	2	2		6	6			
	ぼ や	6	3	1	2		3	1			2
焼損 面積	建 物(m ²)	2,191	1,076	593	483		1,115	1,115			
	林 野(a)										
損 害 額 (千 円)	117,882	76,108	35,357	40,751		41,774	40,511	1		1,262	
り 災 世 帯 数	15	9	6	3		6	5			1	
り 災 人 員	32	17	12	5		15	12			3	
死 者							1				
負 傷 者											

(件)

地域別・火災種別出火件数



救 急

令和3年中の救急件数は2,764件、搬送人員は2,531人で、前年(2,799件、2,571人)と比較すると件数で35件の減少、人員で40人の減少となっています。

事故種別で見ると、急病が1,731件で最も多く、次いで一般負傷447件、転院搬送273件、交通事故152件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,369件、養父市内の救急件数は1,395件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野182件、和田山730件、山東228件、朝来229件となっており、養父市内は、八鹿604件、養父366件、大屋203件、関宮222件となっています。



救急の状況

区 分	令和3年		令和2年		比較増減
	件 数	比率 (%)	件 数	比率 (%)	
総 数	2,764	100	2,799	100	△ 35
火 災			6	0.2	△ 6
自然災害					
水難事故	1	0.1	1	0.1	
交通事故	152	5.5	165	5.9	△ 13
労働災害	12	0.4	20	0.7	△ 8
運動競技	5	0.2	7	0.3	△ 2
一般負傷	447	16.2	460	16.4	△ 13
加 害	2	0.1	8	0.3	△ 6
自損行為	17	0.6	23	0.8	△ 6
急 病	1,731	62.6	1,696	60.6	35
転院搬送	273	9.9	299	10.7	△ 26
そ の 他	124	4.4	114	4.0	10

※その他とは、上記以外のもの。(例) 医師搬送など。

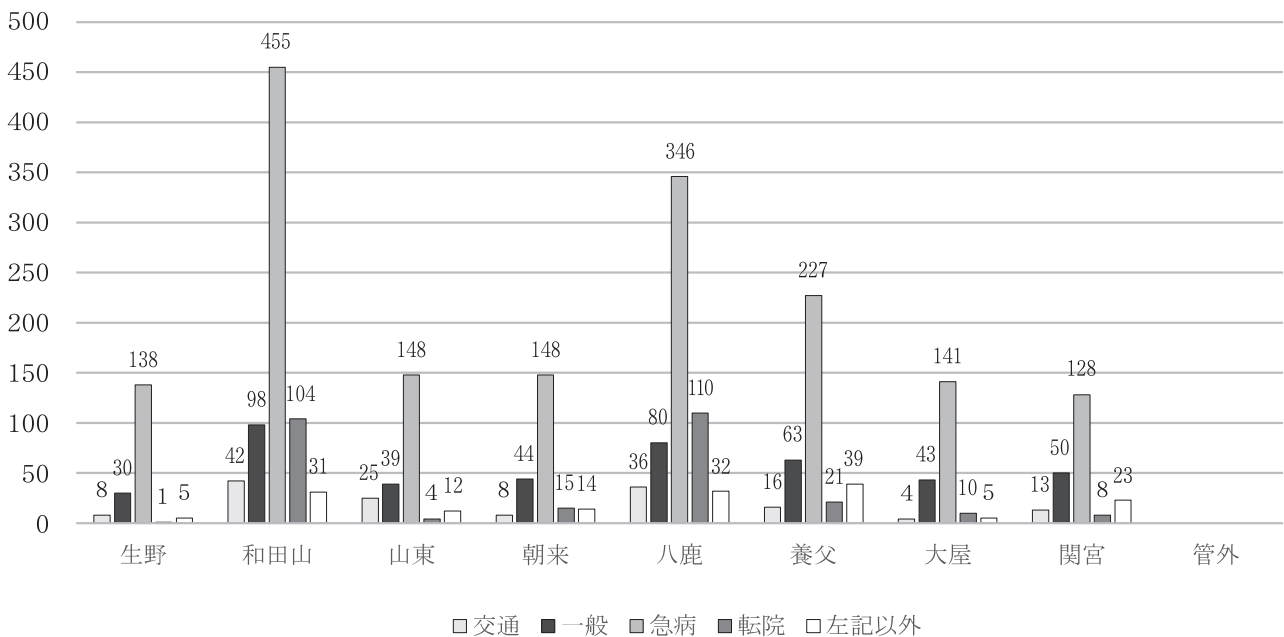
地域別の状況

(単位：件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	2,764	1,369	182	730	228	229	1,395	604	366	203	222	
火 災												
自然災害												
水難事故	1	1		1								
交通事故	152	83	8	42	25	8	69	36	16	4	13	
労働災害	12	6	1	2		3	6		1	2	3	
運動競技	5	3		2	1		2	1	1			
一般負傷	447	211	30	98	39	44	236	80	63	43	50	
加 害	2	2		2								
自損行為	17	10		7	2	1	7	4	2		1	
急 病	1,731	889	138	455	148	148	842	346	227	141	128	
転院搬送	273	124	1	104	4	15	149	110	21	10	8	
そ の 他	124	40	4	17	9	10	84	27	35	3	19	

地域別・事故種別発生状況

(件)



救 助

令和3年中の救助件数は55件で、前年(60件)と比較すると5件の減少となっています。

事故種別でみると、交通事故が19件、水難事故が1件、機械による事故が1件、建物等による事故が12件、その他の事故が22件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内は生野3件、和田山11件、山東7件、朝来4件、養父市内は八鹿9件、養父7件、大屋6件、関宮8件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は32件で、31人を救助しました。



救助の状況

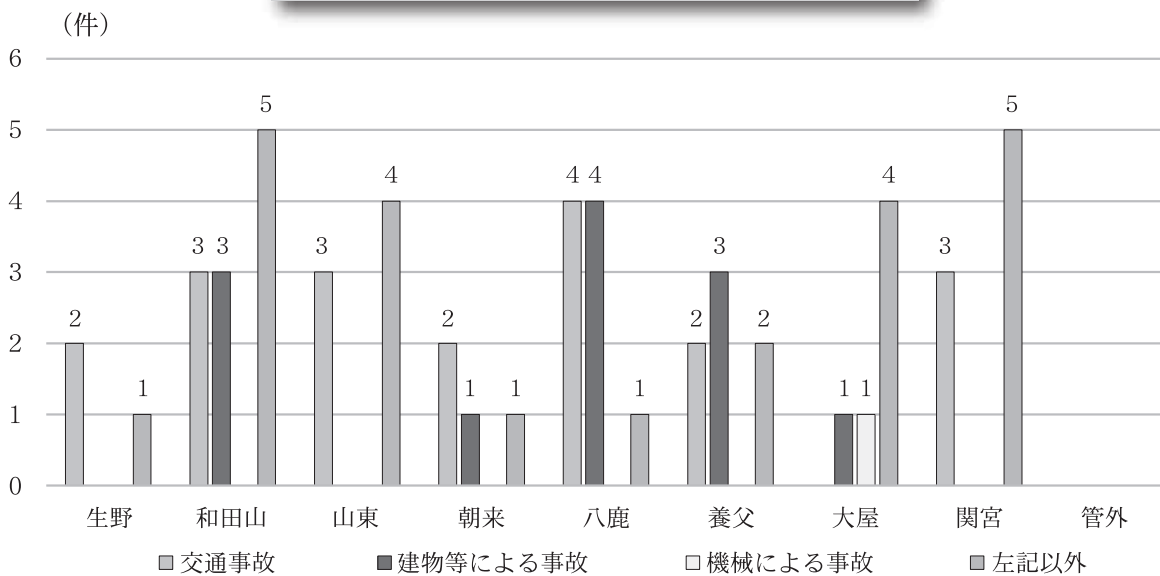
区 分	令和3年	令和2年	比 較 増 減
	件 数	件 数	
総 数	55	60	△ 5
火 災		1	△ 1
交 通 事 故	19	20	△ 1
水 難 事 故	1	3	△ 2
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故	1	5	△ 4
建 物 等 に よ る 事 故	12	8	4
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	22	23	△ 1

地域別の状況

(単位：件)

区分	総数	朝来市					養父市					管外	
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮		
救助件数	総数	55	25	3	11	7	4	30	9	7	6	8	
	火災												
	交通事故	19	10	2	3	3	2	9	4	2		3	
	水難事故	1	1		1								
	自然災害												
	機械による事故	1						1			1		
	建物等による事故	12	4		3		1	8	4	3	1		
	ガス及び酸欠事故												
	破裂事故												
	その他の事故	22	10	1	4	4	1	12	1	2	4	5	
救助活動状況	救助活動件数	32	11	1	4	3	3	21	5	3	6	7	
	救助人員	31	11	1	4	3	3	20	5	3	6	6	

地域別・事故種別発生状況



通 信

令和3年中の119番受信件数は3,409件で、その内訳は緊急通報が2,515件、緊急外通報が894件となっています。

前年と比較すると、緊急通報で10件、緊急外通報で136件の増加となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,325件で、前年と比較すると88件の増加となっています。



通信の状況

(単位：件)

区 分		令和2年	うち携帯電話	令和3年	うち携帯電話	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数		3,263	1,237	3,409	1,325	267	287	288	288	272	256	293	289	258	283	332	296
緊急通報	火災通報	12	8	19	13		3		4	4	2	1	1	1	1	2	
	救急要請	2,327	878	2,291	897	180	195	189	198	176	164	195	210	179	192	211	202
	災害の第2報等	132	81	150	91	14	16	8	7	24	8	12	11	3	13	19	15
	その他	34	8	55	26	6	7	4		3	4	5	2	7	7	7	3
	計	2,505	975	2,515	1,027	200	221	201	209	207	178	213	224	190	213	239	220
緊急外通報	通報訓練	296	18	302	12	11	27	30	17	23	31	16	13	27	23	50	34
	間違い	133	83	115	65	6	6	6	10	9	12	16	16	6	8	7	13
	問合わせ	73	39	107	66	14	10	10	4	12	7	11	6	7	6	7	13
	病院照会	25	14	22	15	3		3	2	1	2	1	3	2	4	1	
	その他	231	108	348	140	33	23	38	46	20	26	36	27	26	29	28	16
	計	758	262	894	298	67	66	87	79	65	78	80	65	68	70	93	76

統計資料編

管 理 編

管
理
編

令和3年度予算状況

(単位：千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比率 (%)
歳入	総計	949,121	△ 16,770	932,351	100.0
	分担金	860,305	△ 16,770	843,535	90.5
	使用料・手数料	3,016	0	3,016	0.3
	国県支出金	0	0	0	0.0
	繰入金	0	0	0	0.0
	繰越金	0	0	0	0.0
	地方債	85,800	0	85,800	9.2
	諸収入他	0	0	0	0.0
歳出	総計	949,121	△ 16,770	932,351	100.0
	人件費	757,098	△ 10,058	747,040	80.1
	物件費	70,670	△ 250	70,420	7.6
	建設事業費	109,306	△ 6,462	102,844	11.0
	維持補修費	3,956	0	3,956	0.4
	補助費等	8,091	0	8,091	0.9
	公債費	0	0	0	0.0

令和3年度職員給与費の実態

職員給与

(単位：千円)

職員数 (A)	令和3年度給与費				一人当たりの 給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
97	333,578	109,707	132,377	575,662	5,935

初任給の状況 (高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1級8号給	1級5号給	1級5号棒
金額	153,900	150,600	150,600

階級別勤続年数

(令和4年3月31日現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	23	29	15	11	16
1 年 未 満	5						5
1 年 ～ 5 年	18				4	4	10
6 年 ～ 10 年	20			2	10	7	1
11 年 ～ 15 年	11		1	9	1		
16 年 ～ 20 年	7			7			
21 年 ～ 25 年	10		2	8			
26 年 ～ 30 年	12		9	3			
31 年 ～ 35 年	7		7				
36 年 以 上	5	1	4				

年齢別職員構成

(令和4年3月31日現在)

階級 年齢区分	総数	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	95	1	23	29	15	11	16
20 歳 以 下	1						1
21 歳 ～ 25 歳	12					1	11
26 歳 ～ 30 歳	23				9	10	4
31 歳 ～ 35 歳	13			7	6		
36 歳 ～ 40 歳	10			10			
41 歳 ～ 45 歳	9			9			
46 歳 ～ 50 歳	13		10	3			
51 歳 ～ 55 歳	6		6				
56 歳 以 上	8	1	7				

研修派遣状況

(単位：人)

階 級 研修科目	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	18		1	3	3	2	9
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	18		1	3	3	2	9
初 任 教 育	5						5
予 防 査 察 科	1					1	
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	4						4
救 助 科	1				1		
初 級 幹 部 科	1			1			
災 害 現 場 指 揮 科	1		1				
潜 水 科	1				1		
通 信 指 令 科	1				1		
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1			1			
山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	1					1	

階級別資格取得状況

(令和4年3月31日現在)

資 格 \ 階 級		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	81	1	21	27	14	9	9
	普 通	95	1	23	29	15	11	16
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		1			1			
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		78	1	21	27	13	9	7
消 防 設 備 士 (甲 種)		1					1	
消 防 設 備 士 (乙 種)		14	1	8	3	1	1	
特 殊 無 線 乙		95	1	23	29	15	11	16
救 急 救 命 士 資 格		41	1	12	20	4		4
気 管 挿 管 認 定		33		12	18	3		
薬 剤 投 与 認 定		37		12	20	4		1
救 急 隊 員 資 格 (II 課 程)		27	1	22	4			
救 急 隊 員 資 格 (標 準 課 程)		68		1	25	15	11	16
応 急 手 当 指 導 員		95	1	23	29	15	11	16
救 助 隊 員 資 格 (1 号)		42	1	14	22	4	1	
潜 水 士		8		1	4	2	1	
小 型 船 舶 操 縦 士		24		6	10	3	4	1
玉 掛 技 能 者		51		8	20	11	9	3
移 動 式 ク レ ー ン		53		8	20	12	9	4
安 全 衛 生 推 進 者		3		3				
予 防 技 術 資 格 者		18		5	8	4	1	

消防相互応援協定等の締結状況

(令和4年3月31日現在)

締結年月日	内 容
平成 25 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 25 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 25 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 27 年 2 月 15 日	養父市及び養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)
平成 29 年 1 月 13 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 29 年 3 月 25 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、豊岡市と北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山インターチェンジから日高神鍋高原インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定(新規)
平成 31 年 3 月 26 日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)

予 防 編

予
防
編

防火対象物の概要 (地域別・中高層建物)

(令和4年3月31日現在)

用途別	防火対象物									3階以上対象物									
	総数	朝来市				養父市				総数	朝来市				養父市				
		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	3,122	215	911	284	228	639	345	250	250	389	27	121	25	12	115	25	8	56	
1	イ映画館等	2	1	1						2	1	1							
	ロ集会場等	189	9	38	22	20	33	20	20	27		4		1	2	1			
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	3		2			1												
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	73	2	28	7	2	9	14	4	7	4		1	1		2			
4	店舗等	143	6	71	9	12	18	19	2	6	6	4			2				
5	イ旅館・ホテル等	113	4	16	12	6	8	4	6	57	46		8	1		1	1	34	
	ロ共同住宅等	328	26	149	31	17	54	35	6	10	86	8	27	10	1	27	8	5	
6	イ病院等	44	2	17	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ログループホーム等	42	3	8	6	7	4	4	8	2	4		1		1			1	
	ハデイサービス・保育所	91	6	20	12	13	19	11	8	2	2			1		1			
	ニ幼稚園等	5		5							2		2						
7	学校等	108	18	18	7	6	44	7	4	4	38	6	11	2	1	11	2	2	3
8	図書館等	19	6	3	1	3	1	1	4		1								
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	95	12	10	3	1	20	24	11	14	1	1							
12	イ工場等	506	39	150	54	47	100	58	34	24	24	6	4	1		7	3	3	
	ロ映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ駐車場等	44	1	12	4	6	11	3	2	5									
14	倉庫	271	26	86	32	17	60	25	12	13	9	1	1	2		5			
15	その他の事業所	737	42	174	59	50	158	81	117	56	71	2	26	5	1	20	7	4	6
16	イ複合用途(特定)	163	2	57	10	5	52	17	7	13	46	1	16	2	1	21	1	1	3
	ロ複合用途(非特定)	109	6	43	6	4	25	15	4	6	29	1	11	1	1	13	1		1
17	文化財建造物	25	3	1	6	6	7	1		1	1				1				

防火対象物の概要 (査察件数・防火管理者・消防計画)

(令和4年3月31日現在)

用途別	査察件数			防火管理者									消防計画						
	総数	朝来市	養父市	対象数			選任数			選任率(%)			計画届出数			届出率(%)			
				総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	全体	朝来市	養父市	
総数	379	201	178	790	397	393	729	367	362	92	92	92	710	364	346	90	92	88	
1	イ映画館等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ集会場等	22	10	12	176	83	93	120	54	66	68	65	71	115	54	61	65	65	66
2	イキャバレー等																		
	ロ遊技場等	5	3	2	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
	ニカラオケボックス等																		
3	イ料理店等																		
	ロ飲食店等	14	10	4	59	30	29	59	30	29	100	100	100	58	29	29	98	97	100
4	店舗等	44	31	13	92	57	35	92	57	35	100	100	100	92	57	35	100	100	100
5	イ旅館・ホテル等	88	35	53	77	18	59	77	18	59	100	100	100	77	18	59	100	100	100
	ロ共同住宅等	10	2	8	16	10	6	16	10	6	100	100	100	16	10	6	100	100	100
6	イ病院等	2	1	1	17	12	5	17	12	5	100	100	100	17	12	5	100	100	100
	ログループホーム等	3	2	1	28	17	11	28	17	11	100	100	100	28	17	11	100	100	100
	ハデイサービス・保育所	5		5	64	33	31	64	33	31	100	100	100	64	33	31	100	100	100
	ニ幼稚園等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
7	学校等	7	7		33	17	16	33	17	16	100	100	100	33	17	16	100	100	100
8	図書館等	4	3	1	12	8	4	12	8	4	100	100	100	12	8	4	100	100	100
9	イサウナ風呂等																		
	ロ公衆浴場等	2		2	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神社・寺院等	6	5	1	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ工場等	45	28	17	27	21	6	27	21	6	100	100	100	26	21	5	96	100	83
	ロ映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ駐車場等																		
14	倉庫	14	12	2	3	2	1	3	2	1	100	100	100	3	2	1	100	100	100
15	その他の事業所	57	17	40	81	37	44	78	36	42	96	97	95	75	35	40	93	95	91
16	イ複合用途(特定)	38	25	13	81	39	42	79	39	40	98	100	95	70	38	32	86	97	76
	ロ複合用途(非特定)	4	4		6	3	3	6	3	3	100	100	100	6	3	3	100	100	100
17	文化財建造物	7	4	3	2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100

確認申請処理状況

(令和4年3月31日現在)

種 別	総 数	朝来市		養父市		同 意	朝来市		養父市		指導による 同意	朝来市		養父市	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市		朝来市	養父市	朝来市	養父市					
総 数	42	24	18	24	13	11	18	11	7						
《工 事 別》															
新 築	39	21	18	24	13	11	15	8	7						
増 築	3	3					3	3							
改 築															
移 転															
修 繕															
模 様 替															
用 途 変 更															
《構 造 別》															
耐 火 構 造	3	2	1	1	1		2	1	1						
準耐火構造	5	4	1	1	1		4	3	1						
そ の 他	34	18	16	22	11	11	12	7	5						

消防教室実施状況

(令和4年3月31日現在)

実 施 区 分	対 象 数			参 加 人 員			時 間			消 防 職 員			
	総数	朝来	養父	総数	朝来	養父	全体	朝来	養父	総数	朝来	養父	
総 数	45	24	21	2,455	1,373	1,082	46:00	25:10	20:50	153	87	66	
地 区	1	1		30	30		0:45	0:45		2	2		
婦人クラブ	5		5	15		15	6:30		6:30	5		5	
老人クラブ													
P T A													
学 校	18	10	8	1,718	887	831	18:25	11:35	6:50	103	62	41	
幼・保育所	6	5	1	469	334	135	5:30	4:10	1:20	13	9	4	
事 業 所	公 共 施 設	4	3	1	91	84	7	2:40	1:40	1:00	9	7	2
	病院・福祉施設	2	1	1	31	10	21	1:30	1:00	0:30	3	1	2
	旅館・ホテル	4		4	55		55	4:10		4:10	10		10
	店 舗 等	1	1		7	7		1:30	1:30		1	1	
	工 場 等	1	1		8	8		1:30	1:30		2	2	
消 防 団													
そ の 他	3	2	1	31	13	18	3:30	3:00	0:30	5	3	2	

※ 普通救命講習会は含まない。(54頁参照)

危険物施設数及び立入検査回数

(令和4年3月31日現在)

危険物施設	総数	朝来市					養父市					立入検査回数		
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	朝来署	養父署	
総数	295	143	33	64	28	18	152	62	30	11	49	83	96	
製造所	3	2	2				1		1			2	1	
貯蔵所	屋内貯蔵所	33	19	7	8	3	1	14	9	2	2	1	1	2
	屋外タンク貯蔵所	33	24	8	8	5	3	9	4			5	3	4
	屋内タンク貯蔵所	14	4	3		1		10	1	7		2		1
	地下タンク貯蔵所	85	28	2	16	6	4	57	17	5	3	32	28	38
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1							1	
	移動タンク貯蔵所	20	11	1	3	3	4	9	5	3		1	11	9
	屋外貯蔵所	4	4	2	2								3	
取扱所	給油取扱所	47	20	2	11	5	2	27	15	6	3	3	19	27
	一般取扱所	55	30	6	16	4	4	25	11	6	3	5	15	14

危険物施設設置許可及び変更許可の状況

(令和4年3月31日現在)

危険物施設	総数	変更許可										設置許可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他		朝来市	養父市
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市		
総数	25	8	4	4		3				2		2	2
製造所													
屋内貯蔵所	1									1			
屋外タンク貯蔵所	2											1	1
屋内タンク貯蔵所													
地下タンク貯蔵所	2		1	1									
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	2											1	1
屋外貯蔵所													
給油取扱所	4		3	1									
一般取扱所	14	8		2		3				1			

市別・数量別危険物施設数

(令和4年3月31日現在)

危険物施設	総数	5倍以下		5倍を超え10倍以下		10倍を超え50倍以下		50倍を超え100倍以下		100倍を超え200倍以下		200倍を超えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	295	67	46	30	34	28	52	3	9	8	7	7	4
製造所	3					1		1	1				
貯蔵所	190	51	33	21	28	17	34		4	2			
屋内貯蔵所	33	11	5	6	5	1	1		3	1			
屋外タンク貯蔵所	33	7	3	6		10	6			1			
屋内タンク貯蔵所	14	1	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	85	18	12	6	17	4	27		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	20	11	9										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取扱所	102	16	13	9	6	10	18	2	4	6	7	7	4
給油取扱所(営業用)	29		1					1	3	6	7	7	4
給油取扱所(自家用)	18	3			2	3	10						
一般取扱所	55	13	12	9	4	7	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(令和4年3月31日現在)

危険物施設	総数	1類		2類		3類		4類		5類		6類		混在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	295				1			141	147	1	2			1	2
製造所	3							2							1
貯蔵所	190				1			90	96		2			1	
屋内貯蔵所	33				1			18	11		2			1	
屋外タンク貯蔵所	33							24	9						
屋内タンク貯蔵所	14							4	10						
地下タンク貯蔵所	85							28	57						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	20							11	9						
屋外貯蔵所	4							4							
取扱所	102							49	51	1					1
給油取扱所(営業用)	29							14	15						
給油取扱所(自家用)	18							6	12						
一般取扱所	55							29	24	1					1

各種届出等受理状況

(令和4年3月31日現在)

届 出 別		総 数	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任（解任）届出書		119	67	52
消防計画届出書		159	96	63
消防用設備等着工届出書		32	17	15
消防用設備等工事計画届出書		38	26	12
消防用設備等設置届出書		156	101	55
消防用設備等特例基準適用願		2	1	1
消防用設備等点検結果報告書		592	367	225
防火対象物定期点検結果報告書		48	28	20
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		79	50	29
火を使用する 設 備 等 の 設 置 届 出 書	熱風炉			
	炉・かまど	1		1
	ボイラー・給湯湯沸設備	9	5	4
	乾燥設備	2	1	1
	サウナ設備	2		2
	温風暖房機			
電 気 設 備 設 置 届 出 書	変電設備	20	12	8
	発電設備	2		2
	蓄電池設備	7	1	6
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		2	2	
総 数		1,270	774	496

警 防 編

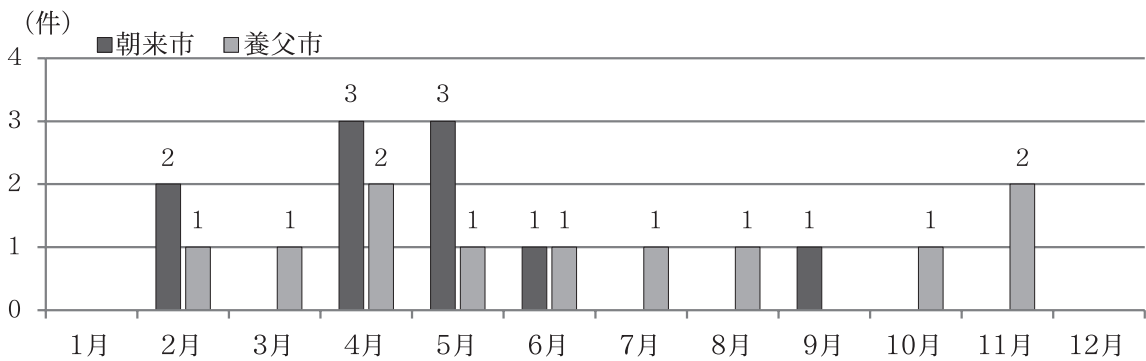
年次別火災発生状況

区分		年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出火件数	総 数		20	26	24	19	21
	朝来市	小 計	10	21	11	9	10
		建物火災	6	8	3	1	7
		林野火災	1			1	
		車両火災	1	2	1	1	1
		その他の火災	2	11	7	6	2
	養父市	小 計	10	5	13	10	11
		建物火災	8	2	6	6	5
		林野火災			2		
		車両火災		1			2
その他の火災		2	2	5	4	4	
焼損棟数	総 数		17	12	12	9	30
	朝来市	小 計	8	10	4	1	15
		全 焼	3	3	1		5
		半 焼	1		1		3
		部分焼	1	1	2		4
		ぼ や	3	6		1	3
	養父市	小 計	9	2	8	8	15
		全 焼	2		3	2	6
		半 焼			2		
		部分焼	3		2	2	6
ぼ や		4	2	1	4	3	
焼損面積	総数	建物【㎡】	633	1,019	1,923	219	2,191
		林野(a)	13		42	1,930	
	朝来市	建物【㎡】	317	1,019	478		1,076
		林野(a)	13			1,900	
	養父市	建物【㎡】	316		1,445	219	1,115
	林野(a)			42	30		

区分		年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
り 災 世 帯	総 数		6	5	13	3	15	
	朝 来 市	小 計	2	5	4		9	
		全 損	1	2	1		3	
		半 損					2	
		小 損	1	3	3		4	
	養 父 市	小 計	4		9	3	6	
		全 損	1		5	1	2	
		半 損			1			
		小 損	3		3	2	4	
	り 災 人 員	総 数		17	13	22	5	32
		朝 来 市		5	13	11		17
		養 父 市		12		11	5	15
損 害 額 (千円)	総 額		80,592	37,389	94,585	49,711	117,314	
	朝 来 市	小 計	65,116	37,341	28,337	37,477	76,108	
		建 物	11,156	34,801	25,836	1,069	75,075	
		林 野	238			35,722		
		車 両	53,068	2,475	2,500	433	38	
		そ の 他	654	65	1	253	995	
	養 父 市	小 計	15,476	48	66,248	12,234	41,206	
		建 物	15,476	9	39,136	12,178	40,970	
		林 野			91	27	23	
		車 両		39	23,389		210	
		そ の 他			3,632	29	3	
死 傷 者	総 数	死 者	1	2		1	1	
		負 傷 者	8	6	4	4		
	朝 来 市	死 者		2				
		負 傷 者		5				
	養 父 市	死 者	1			1	1	
		負 傷 者	8	1	4	4		

月別火災発生状況

種別		月別												
		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		21		3	1	5	4	2	1	1	1	1	2	
朝来市	小計	10		2		3	3	1			1			
	建物火災	7		1		3	3							
	林野火災													
	車両火災	1						1						
	その他の火災	2		1							1			
養父市	小計	11		1	1	2	1	1	1	1		1	2	
	建物火災	5				1	1			1			2	
	林野火災													
	車両火災	2		1					1					
	その他の火災	4			1	1		1				1		

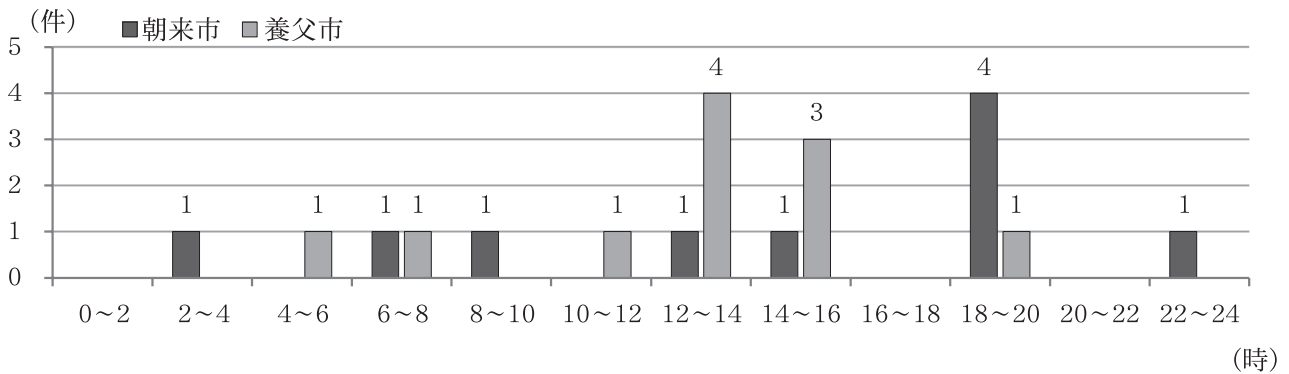


曜日別火災発生状況

種別		曜日別							
		総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		21	3	3	5	2	4	2	2
朝来市	小計	10	2	1	3	2	1		1
	建物火災	7	1		2	2	1		1
	林野火災								
	車両火災	1			1				
	その他の火災	2	1	1					
養父市	小計	11	1	2	2		3	2	1
	建物火災	5			1		2	1	1
	林野火災								
	車両火災	2	1	1					
	その他の火災	4		1	1		1	1	

時間別火災発生状況

種別	時間別	総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		21		1	1	2	1	1	5	4		5		1
朝 来 市	小 計	10		1		1	1		1	1		4		1
	建 物 火 災	7		1		1				1		3		1
	林 野 火 災													
	車 両 火 災	1										1		
	その他の火災	2					1		1					
養 父 市	小 計	11			1	1		1	4	3		1		
	建 物 火 災	5			1	1			2	1				
	林 野 火 災													
	車 両 火 災	2						1				1		
	その他の火災	4							2	2				



使用した消防水利

消防水利	令和3年				令和2年	
	総 数	建物火災	林野火災	車両火災		その他の火災
総 数	14	8		1	5	8
自然水利	4	3			1	1
防火水槽	1	1				
消 火 栓	5	4			1	4
積載水等	4			1	3	3

※事後聞知1件、放水なしの6件は除く

覚知から現場到着までの所要時間

地区別		時間別						平均(分)
		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	
総 数		20	1	11	6	2		10.5
朝 来 市	小 計	9		6	2	1		11.3
	生 野	2		2				7.0
	和田山	7		4	2	1		12.6
	山 東							
	朝 来							
養 父 市	小 計	11	1	5	4	1		9.7
	八 鹿	6		4	2			9.0
	養 父	3	1	1	1			7.0
	大 屋							
	関 宮	2			1	1		16.0

※事後聞知1件を除く

放水開始から鎮火までの所要時間

地区別		総 数	時間別							平均(分)	
			5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分		61分以上
総 数		14		3	3		1			7	71.4
朝 来 市	小 計	6			2					4	92.3
	生 野	2								2	127.5
	和田山	4			2					2	74.8
	山 東										
	朝 来										
養 父 市	小 計	8		3	1		1			3	55.6
	八 鹿	4		2						2	75.8
	養 父	3		1	1		1				19.0
	大 屋										
	関 宮	1								1	85.0

※事後聞知1件、放水なし6件は除く

出 火 原 因

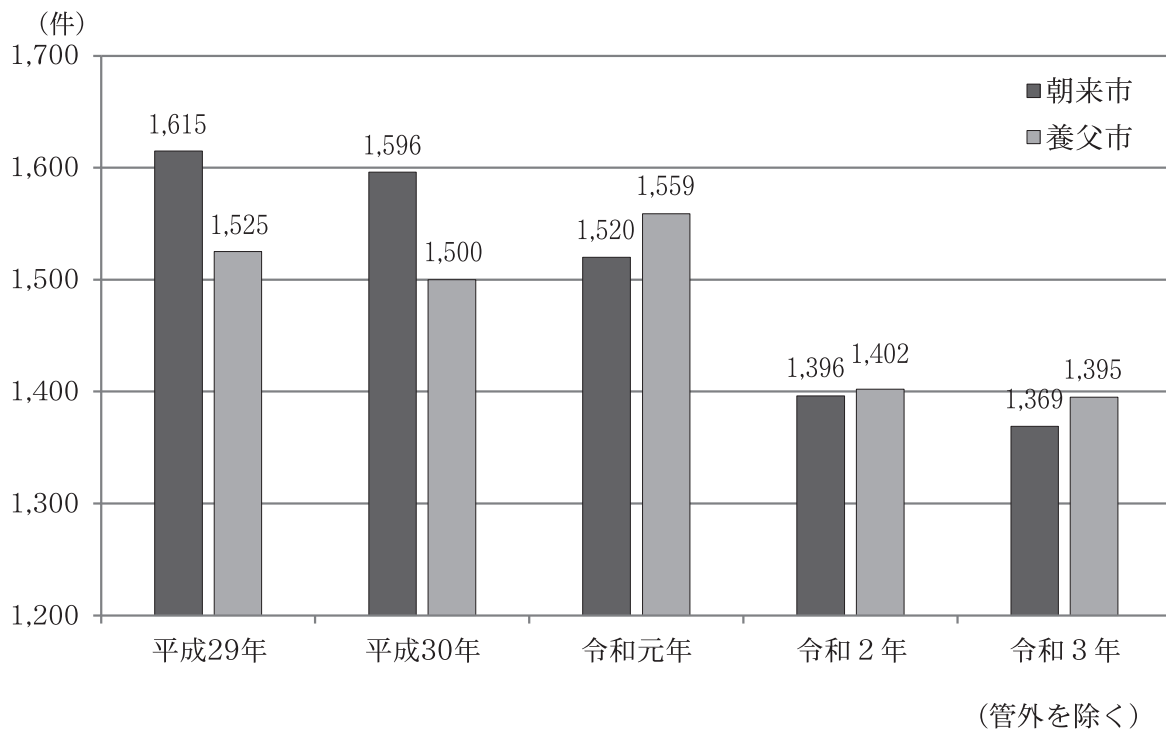
区 分		令 和 3 年					令 和 2 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		21	12		3	6	19	7	1	1	10
裸 火	た ば こ						1	1			
	虫 焼 火										
	焼 却 火	6	1			5	8	1			7
	マ ッ チ										
	線 香										
人 的	火 あ そ び										
	放火(放火の疑い)						1				1
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ										
	こ ん ろ						1	1			
	溶接機・切断機	1	1								
	風呂用バーナー	1	1								
	そ の 他										
電 気 関 係	過 放 電	1	1								
	電 気 機 器	1	1								
	電 気 装 置						2	2			
	静 電 気						1	1			
	そ の 他										
車 両	ブ レ ー キ	1			1		1			1	
	エ ン ジ ン										
	電 気 系 統	1			1						
	そ の 他										
そ の 他	薪 ス ト ー ブ	1	1								
	スプレー缶の過熱						1				1
	焼 却 炉										
	落 雷						1		1		
	不 明	7	5		1	1	2	1			1
	そ の 他	1	1								

用途別火災発生状況

用途別	区分	火災発生件数 (件)	焼損面積		損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	死傷者	
			建物				死者 (人)	負傷者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総数		21	2,191	58	117,882	30	1	
建築物火災	住宅	7	2,178	49	94,920	24	1	
	遊技場							
	飲食店							
	店舗							
	旅館・ホテル							
	病院・福祉施設							
	学校							
	神社・寺院							
	工場・作業場	1			1,196	1		
	倉庫							
	車庫							
	養鶏舎・養畜舎							
	事務所・官公署	1	3		252	1		
	その他	3	10	9	21,286	4		
林野火災								
車両火災		3			208			
その他の火災	畑	2						
	休耕地							
	公園							
	河川敷							
	その他	4			20			

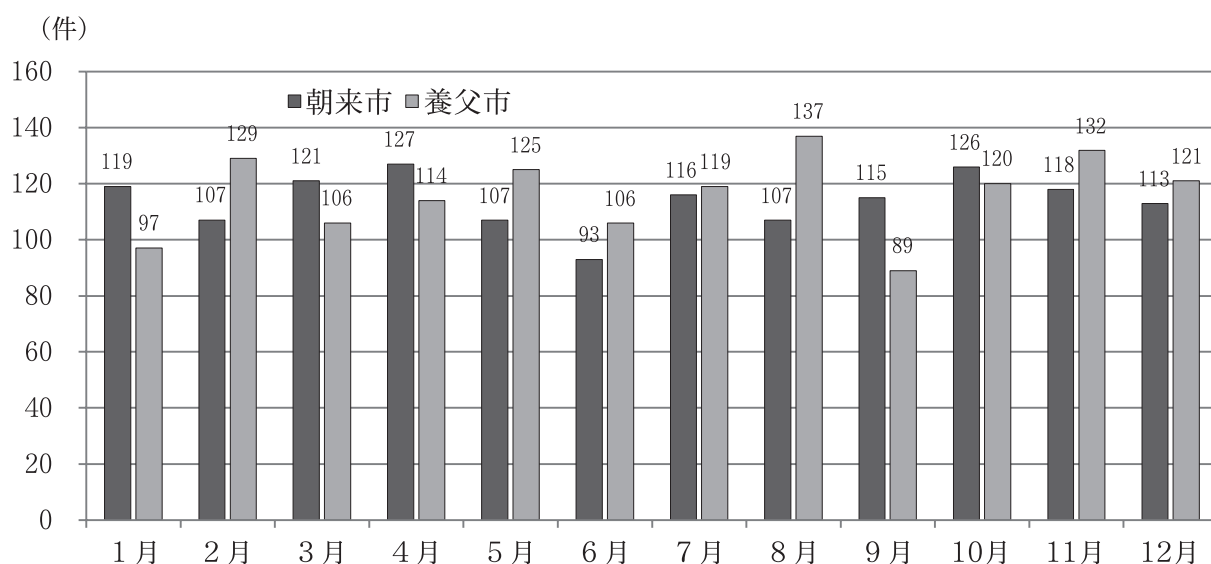
年次別救急発生状況

種別		年別				
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総 数		3,144	3,096	3,079	2,799	2,764
朝 来 市	小 計	1,615	1,596	1,520	1,396	1,369
	交通事故	135	97	131	76	83
	一般負傷	262	235	236	224	211
	急 病	997	1,046	931	880	889
	転院搬送	112	111	149	142	124
	そ の 他	109	107	73	74	62
養 父 市	小 計	1,525	1,500	1,559	1,402	1,395
	交通事故	79	113	91	88	69
	一般負傷	281	257	255	236	236
	急 病	836	885	952	816	842
	転院搬送	203	154	161	157	149
	そ の 他	126	91	100	105	99
管 外		4			1	



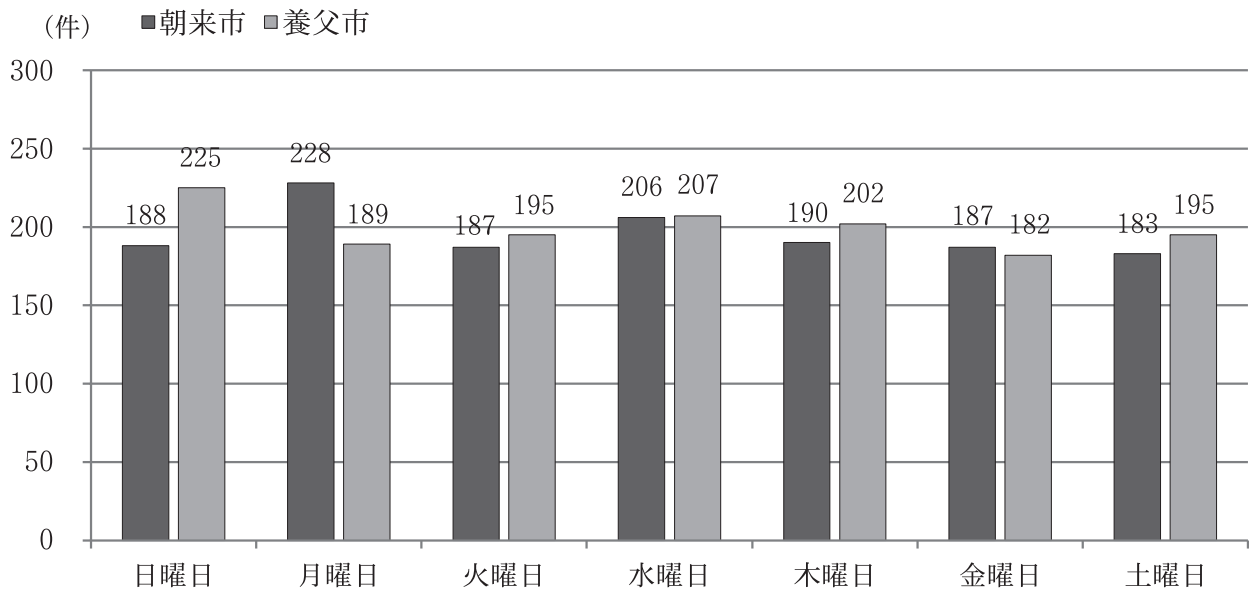
月別救急発生状況

種別	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	総数		2,764	216	236	227	241	232	199	235	244	204	246	250
朝来市	小計	1,369	119	107	121	127	107	93	116	107	115	126	118	113
	交通事故	83	7	8	10	8	8	3	9	6	4	8	4	8
	一般負傷	211	21	16	12	20	16	12	11	16	24	21	15	27
	急病	889	72	67	86	82	63	66	79	71	76	75	86	66
	転院搬送	124	13	9	8	12	13	9	14	12	8	15	6	5
	その他	62	6	7	5	5	7	3	3	2	3	7	7	7
養父市	小計	1,395	97	129	106	114	125	106	119	137	89	120	132	121
	交通事故	69	2	10		6	4	12	6	6	2	6	9	6
	一般負傷	236	17	29	16	23	19	20	17	25	16	16	22	16
	急病	842	64	74	71	67	69	56	80	82	54	74	72	79
	転院搬送	149	7	9	12	14	17	12	13	14	13	10	16	12
	その他	99	7	7	7	4	16	6	3	10	4	14	13	8
管外	小計													



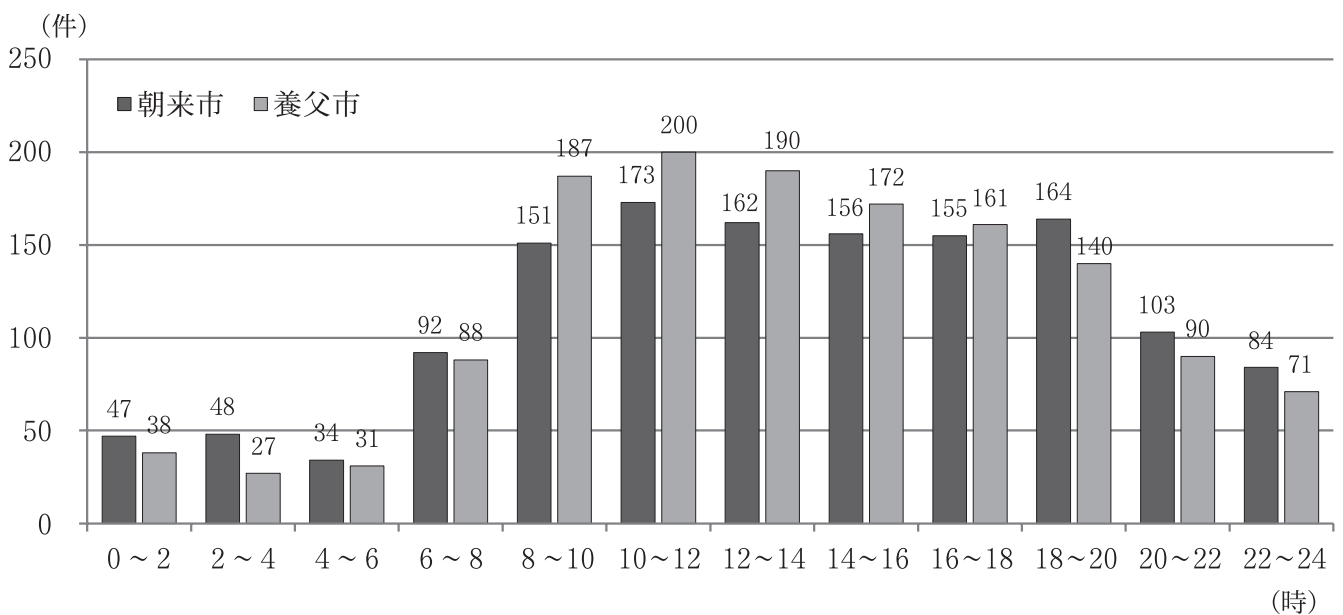
曜日別救急発生状況

種別	曜日別	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		2,764	413	417	382	413	392	369	378
朝来市	小計	1,369	188	228	187	206	190	187	183
	交通事故	83	11	16	8	7	13	18	10
	一般負傷	211	41	35	29	32	25	24	25
	急病	889	128	144	125	126	125	111	130
	転院搬送	124	5	21	17	25	21	23	12
	その他	62	3	12	8	16	6	11	6
養父市	小計	1,395	225	189	195	207	202	182	195
	交通事故	69	21	7	5	8	14	5	9
	一般負傷	236	35	37	31	33	32	27	41
	急病	842	134	115	127	119	126	113	108
	転院搬送	149	12	23	24	22	16	30	22
	その他	99	23	7	8	25	14	7	15
管外	小計								



時間別救急発生状況

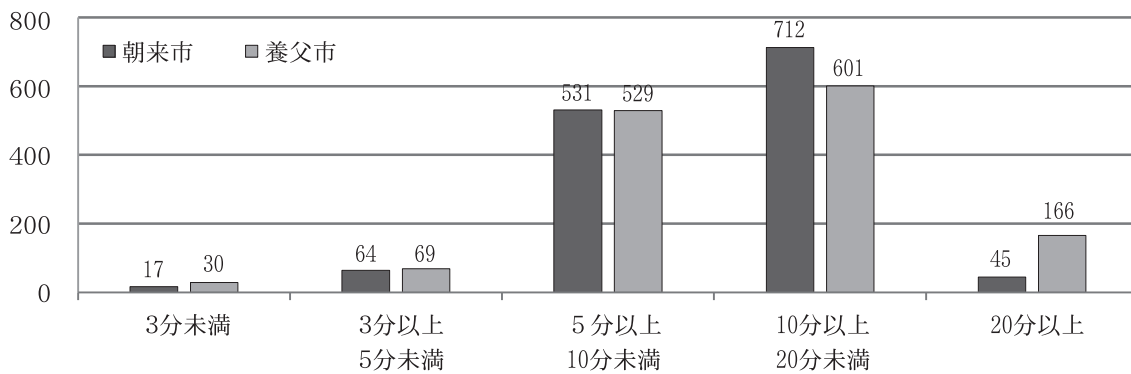
時間別 種別		総数	時間別											
			0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		2,764	85	75	65	180	338	373	352	328	316	304	193	155
朝 来 市	小 計	1,369	47	48	34	92	151	173	162	156	155	164	103	84
	交通事故	83		2	2	5	6	19	9	13	18	8	1	
	一般負傷	211	2	7	2	18	32	30	20	30	26	19	14	11
	急 病	889	41	38	29	64	97	86	99	85	77	122	80	71
	転院搬送	124	1			2	11	28	24	17	19	14	6	2
	そ の 他	62	3	1	1	3	5	10	10	11	15	1	2	
養 父 市	小 計	1,395	38	27	31	88	187	200	190	172	161	140	90	71
	交通事故	69		2	1	8	8	9	13	11	7	8		2
	一般負傷	236	5	3	2	14	34	31	27	35	33	20	19	13
	急 病	842	30	21	26	59	121	105	96	80	93	100	64	47
	転院搬送	149	1	1	2	5	12	27	33	25	21	10	5	7
	そ の 他	99	2			2	12	28	21	21	7	2	2	2
管外	小 計													



覚知から現場到着までの所要時間状況

発生場所別 \ 時間	総数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総数	2,764	47	133	1,060	1,313	211	10.9
朝来市	1,369	17	64	531	712	45	10.2
養父市	1,395	30	69	529	601	166	11.6
管外							

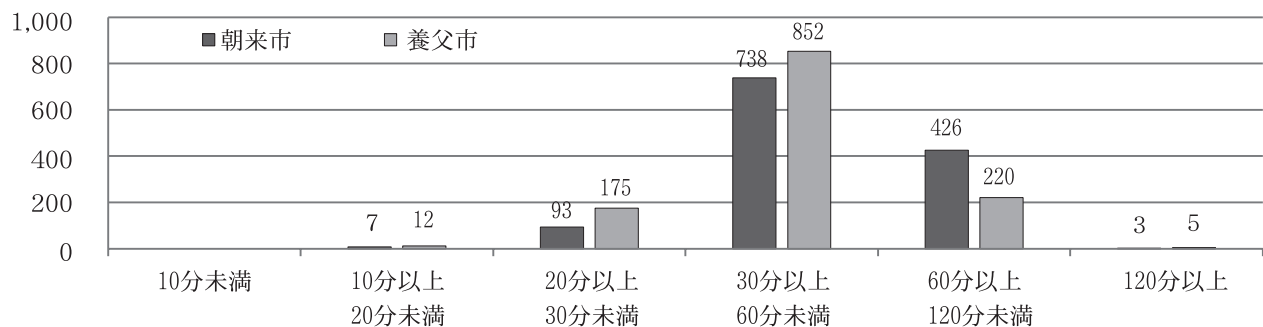
(件)



覚知から医療機関収容までの所要時間状況

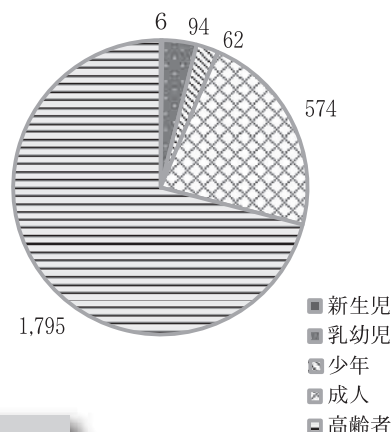
発生場所別 \ 時間	総数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数	2,531		19	268	1,590	646	8	50.2
朝来市	1,267		7	93	738	426	3	53.5
養父市	1,264		12	175	852	220	5	46.8
管外								

(人)



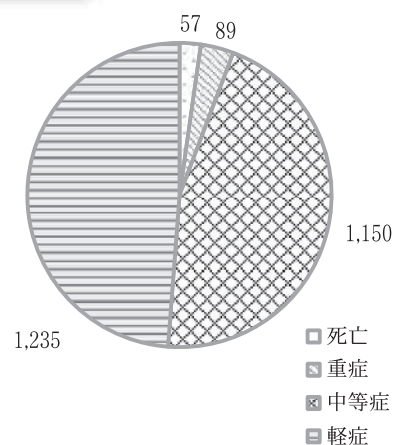
年齢区分別搬送人員

種別 \ 区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
総数	2,531	6	94	62	574	1,795
交通事故	140		3	14	72	51
一般負傷	429		29	13	68	319
急病	1,661	3	61	25	370	1,202
転院搬送	272	3	1	5	48	215
その他	29			5	16	8



傷病程度別搬送人員

種別 \ 区分	総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,531	57	89	1,150	1,235	
交通事故	140	1	4	44	91	
一般負傷	429	4	19	184	222	
急病	1,661	48	55	687	871	
転院搬送	272	1	10	222	39	
その他	29	3	1	13	12	



※ 死亡・・・初診時、死亡と診断されたもの
 重症・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症・・・入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症・・・入院加療を必要としないもの
 その他・・・医師の診断のないもの

救急隊の行った主な応急処置状況

種別 \ 処置	心電図	酸素吸入	心肺蘇生	除細動	器具による気道確保	静脈路確保		薬剤投与		血糖測定
						CPA前	CPA後	アドレナリン	ブドウ糖	
総数	2,447	690	59	7	52	52	33	23	4	64
交通事故	131	63	1			1				
一般負傷	388	60	5		6	5	3	2		1
急病	1,630	466	49	7	44	45	29	20	4	62
その他	298	101	4		2	1	1	1		1

※ CPAとは、心肺機能が停止した傷病者をいう。

事故種別・収容医療機関状況

医療機関		種別	総数	比率(%)	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他
総数			2,531	100	140	429	1,661	272	29
管内	小計		1,155	45.6	45	263	773	63	11
	病院	八鹿病院	962	37.9	35	192	668	57	10
		朝来医療センター	192	7.6	10	71	105	5	1
		その他の病院	1	0.1				1	
	診療所等								
	その他								
管外	小計		1,376	54.5	95	166	888	209	18
	病院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,275	49.8	95	146	832	184	18
		神崎総合病院	51	2.4		17	34		
		その他の病院	50	2.3		3	22	25	
	診療所等								

地域別・収容医療機関状況

医療機関		市別	総数	朝来市	比率(%)	養父市	比率(%)	管外
総数			2,531	1,267	100	1,264	100	
朝来市内医療機関	小計		192	175	15.7	17	1.6	
	朝来医療センター		192	175	15.7	17	1.6	
	その他の病院							
	診療所等							
	その他							
養父市内医療機関	小計		962	368	24.2	594	49.3	
	八鹿病院		961	368	24.2	593	49.2	
	その他の病院		1			1	0.1	
	診療所等							
	その他							
管外	小計		1,377	724	59.9	653	49.0	
	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)		1,275	635	51.4	640	48.3	
	神崎総合病院		51	51	4.7			
	その他の病院		51	38	3.8	13	0.7	
	診療所等							

ドクターヘリ・ドクターカー一月別要請状況

月別 \ 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,616	144	156	140	131	137	112	141	141	113	131	138	132
交通事故	83	5	10	5	8	9	9	12	8		8	4	5
一般負傷	100	8	19	6	8	8	8	8	8	6	8	9	4
急病	1,363	124	122	123	110	112	92	117	116	100	109	120	118
転院搬送	44	5	3	3	2	6	2	2	6	2	3	5	5
その他	26	2	2	3	3	2	1	2	3	5	3		

普通救命講習実施状況

区分	実施回数(回)	受講者数(人)
学校関係	1	4
事業所等		
消防団		
その他		
総数	1	4

※令和3年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
(トライやる・ウィーク生徒のみ実施)



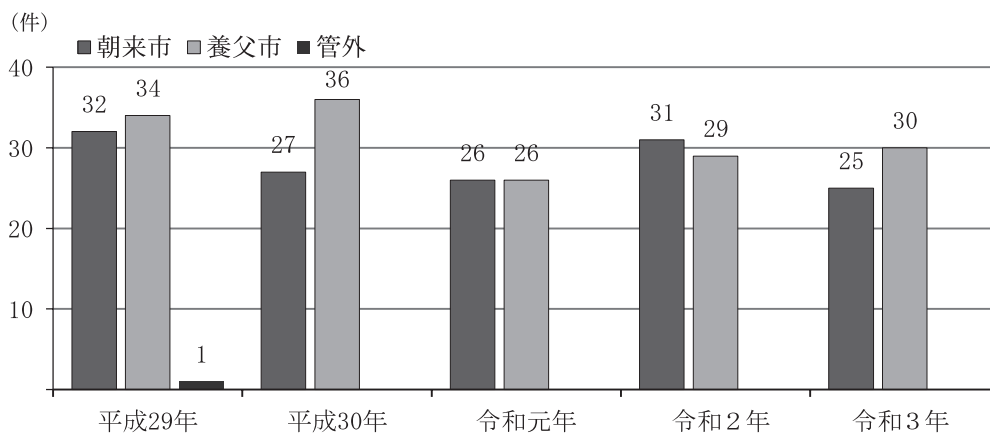
※署内救急訓練



※トライやる・ウィークでの普通救命講習

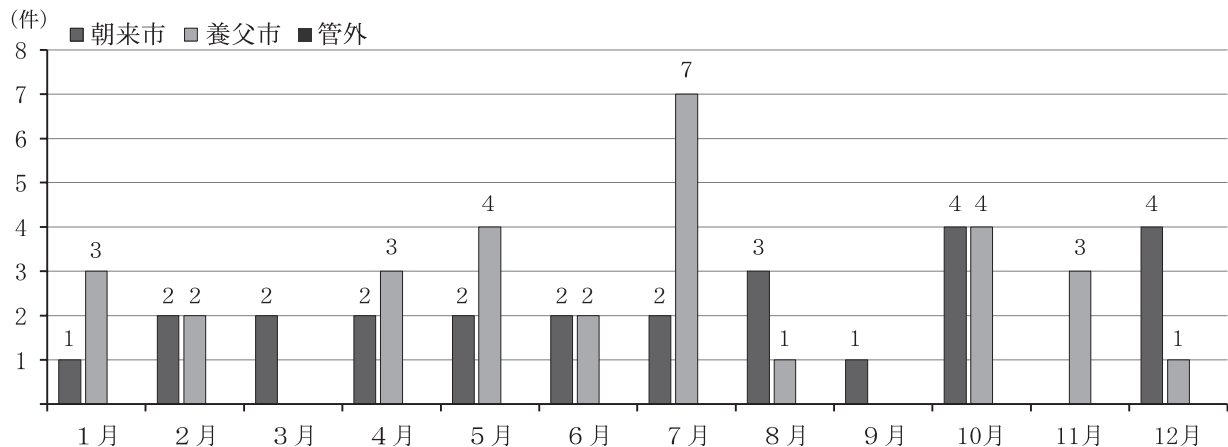
年次別救助発生状況

種別	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総 数		67	63	52	60	55
朝 来 市	小 計	32	27	26	31	25
	火 災		2			
	交 通 事 故	16	6	17	10	10
	水 難 事 故	5	2		2	1
	自 然 災 害		3			
	機械による事故				5	
	建物等による事故	1	1	1	4	4
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	10	13	8	10	10
養 父 市	小 計	34	36	26	29	30
	火 災				1	
	交 通 事 故	19	18	10	10	9
	水 難 事 故	1		2	1	
	自 然 災 害		1			
	機械による事故			1		1
	建物等による事故	1	4	1	4	8
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	13	13	12	13	12
管 外	1					



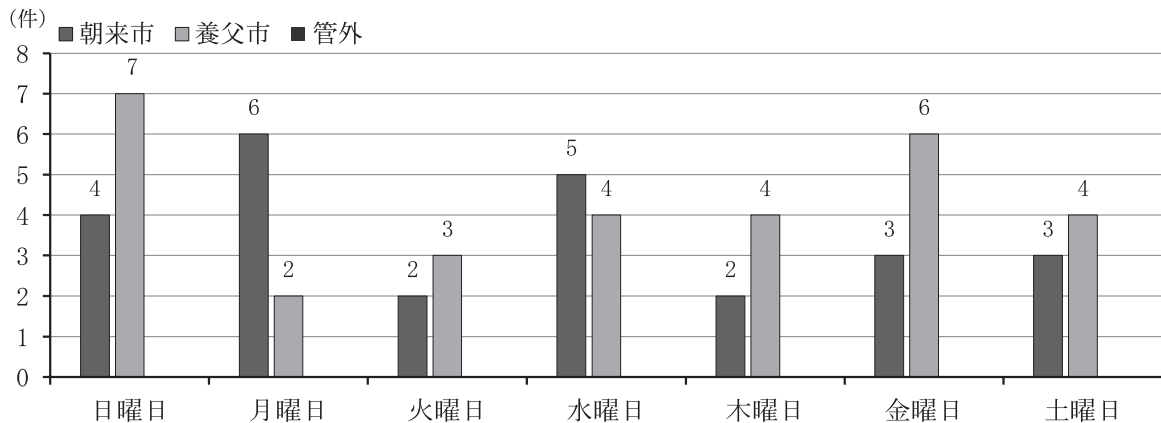
月別救助発生状況

種別	月別	総数	月別											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総	数	55	4	4	2	5	6	4	9	4	1	8	3	5
朝 来 市	小 計	25	1	2	2	2	2	2	2	3	1	4		4
	火 災													
	交 通 事 故	10			2		1		1	2	1	2		1
	水 難 事 故	1				1								
	自 然 災 害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4		1			1	2						
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	10	1	1		1			1	1		2		3
養 父 市	小 計	30	3	2		3	4	2	7	1		4	3	1
	火 災													
	交 通 事 故	9		2			1	1	2			2	1	
	水 難 事 故													
	自 然 災 害													
	機械による事故	1											1	
	建物等による事故	8	2					1	2			2		1
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	12	1			3	3		3	1			1	
管外	小 計													



曜日別救助発生状況

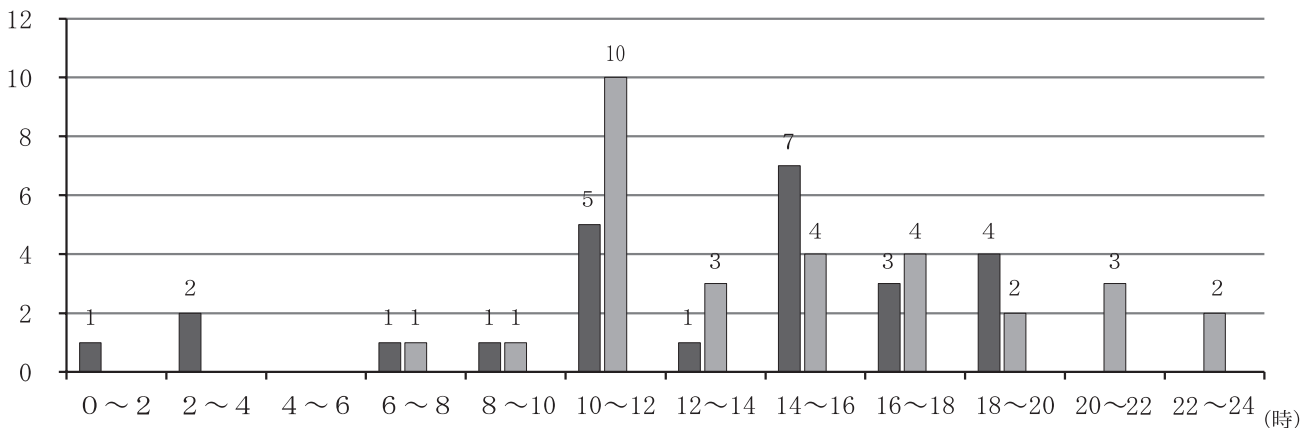
種別	曜日別	総数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
総数		55	11	8	5	9	6	9	7
朝来市	小計	25	4	6	2	5	2	3	3
	火災								
	交通事故	10	1	3		2		3	1
	水難事故	1					1		
	自然災害								
	機械による事故								
	建物等による事故	4		1	1	1	1		
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	10	3	2	1	2			2
養父市	小計	30	7	2	3	4	4	6	4
	火災								
	交通事故	9	4		2		2		1
	水難事故								
	自然災害								
	機械による事故	1				1			
	建物等による事故	8		2		1		4	1
	ガス及び酸欠事故								
	破裂事故								
	その他	12	3		1	2	2	2	2
管外	小計								



時間別救助発生状況

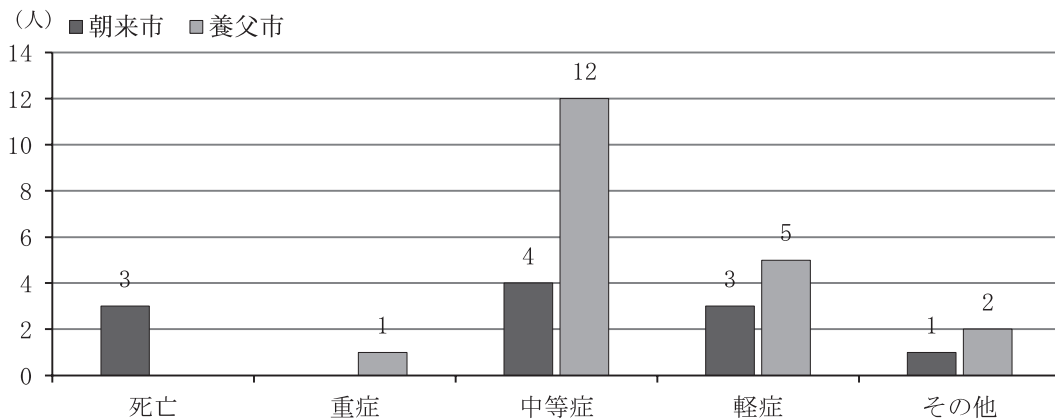
種別	時間別	総数	時間別											
			0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総	数	55	1	2		2	2	15	4	11	7	6	3	2
朝 来 市	小計	25	1	2		1	1	5	1	7	3	4		
	火災													
	交通事故	10		1		1		3		3	2			
	水難事故	1					1							
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故	4	1						1			2		
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	10		1				2		4	1	2		
養 父 市	小計	30				1	1	10	3	4	4	2	3	2
	火災													
	交通事故	9						4	1	3		1		
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故	1									1			
	建物等による事故	8				1		1			2	1	2	1
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	12					1	5	2	1	1		1	1
管外	小計													

(件) ■朝来市 ■養父市 ■管外



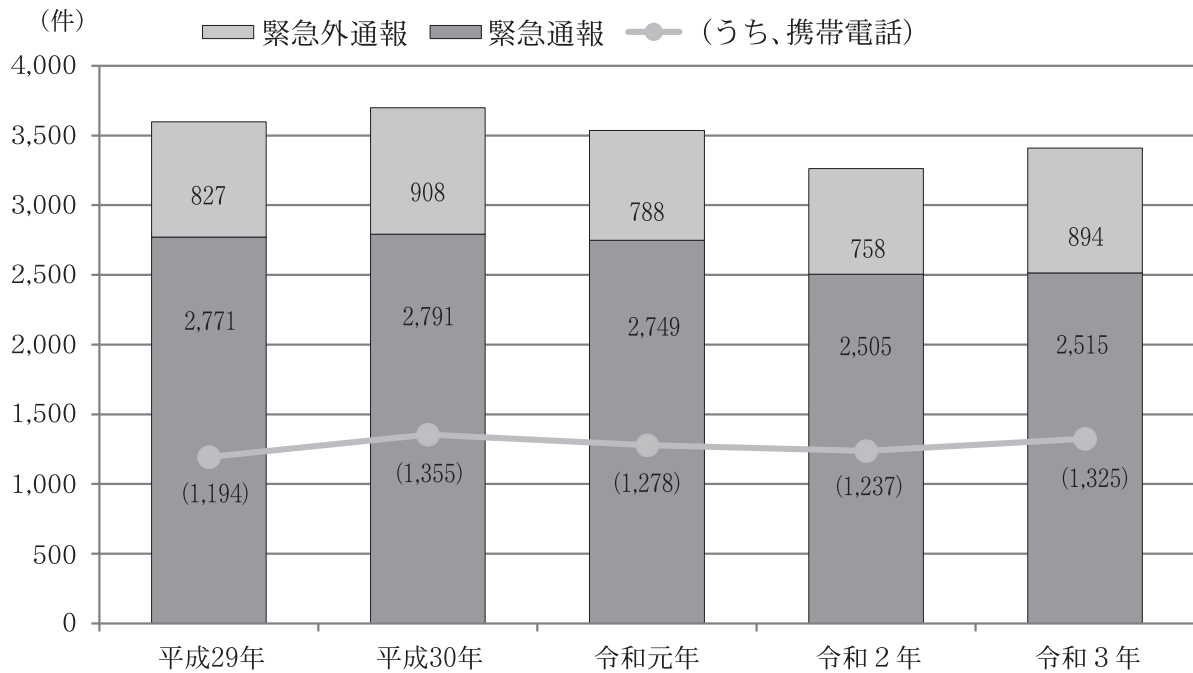
事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度	救 助 人 員					
			総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
総 数			31	3	1	16	8	3
朝 来 市	小 計		11	3		4	3	1
	火 災							
	交 通 事 故		4			3	1	
	水 難 事 故		1	1				
	自 然 災 害							
	機械による事故							
	建物等による事故		2	1			1	
	ガス及び酸欠事故							
	破 裂 事 故							
	そ の 他		4	1		1	1	1
養 父 市	小 計		20		1	12	5	2
	火 災							
	交 通 事 故		5			3	2	
	水 難 事 故							
	自 然 災 害							
	機械による事故		1			1		
	建物等による事故		4			3	1	
	ガス及び酸欠事故							
	破 裂 事 故							
	そ の 他		10		1	5	2	2
管外	小 計							



年次別119番受信状況

種別		年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総 数 (うち、携帯電話)			3,598 (1,194)	3,699 (1,355)	3,537 (1,278)	3,263 (1,237)	3,409 (1,325)
緊急通報	小 計		2,771	2,791	2,749	2,505	2,515
	火災通報		15	23	18	12	19
	救急要請		2,591	2,572	2,545	2,327	2,291
	災害の 第2報等		127	149	155	132	150
	そ の 他		38	47	31	34	55
緊急外通報	小 計		827	908	788	758	894
	通報訓練		305	304	345	296	302
	間 違 い		94	117	88	133	115
	問 合 わ せ		83	111	62	73	107
	病院照会		65	48	48	25	22
	そ の 他		280	328	245	231	348



消防用機器の配置状況

(令和4年4月1日現在)

名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設 I 型	1	
	119番専用回線（携帯等含）	8回線	
	119番FAX受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	2	1
	防災無線設備	1	
	車両動態システム（AVM）	11	9
	簡易車両動態システム	4	2
	消防職団員参集メールシステム	1	
	消 防 資 材	ホース（65mm）	143
ホース（50mm）		146	171
C級可搬式ポンプ		3	1
D級可搬式ポンプ			1
ジェットシューター		22	37
高発泡器		1	1
組立式布水槽		3	4
C A F S 薬剤		4400	2600
救 急 資 材	熱画像直視装置	1	1
	半自動除細動器	3	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	3	3
	喉頭鏡	3	3
	ビデオ硬性喉頭鏡	3	3
	気管挿管セット	3	3
	呼吸管理器具	3	3
	自動式心マッサージ器	3	3
	陰圧式固定具	3	3
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	9	6
機 材	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	3	3
	心肺蘇生訓練用人形	9	9
	AEDトレーナー	4	4
	ショートボード	1	2

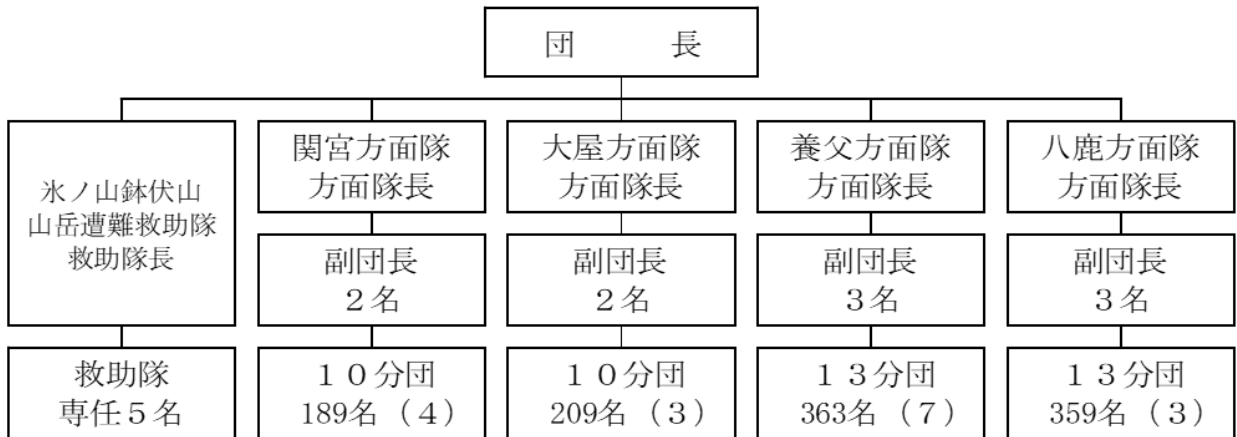
名 称		朝来署	養父署
救 助 資 材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	3	2
	エアーカッター	1	1
	エッジローラー	2	2
	チルホール	2	2
	チェーンソー	4	3
	ルーカスレスキューツール	1	1
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット（ソフトラディング）	1	1
	緩降機	1	1
	送排風機	1	1
機 材	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	2	2
	スケッドストレッチャー	3	3
	ガス溶断機	1	1
	エアーソー	1	1
	ガラスソー	7	4
	化学防護服（陽圧式）	4	
	化学防護服	7	6
	防毒マスク	14	7
	マンホール救助器具	1	1
	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
機 材	車両移動器具	2	1
	削岩機		1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器	1	1
	G P S	2	2
	ハンマードリル	2	1
	セイバーソー	1	1
	エアーテント	2	1
	ウェットスーツ一式	5	6
	救命胴衣（PFD含む）	39	40
	救命浮輪（浮環）	6	5
機 材	救助用ボート	1	
	船外機	1	
	ラフティングボート		1

各種団体

消 防 団

(令和4年4月1日現在)

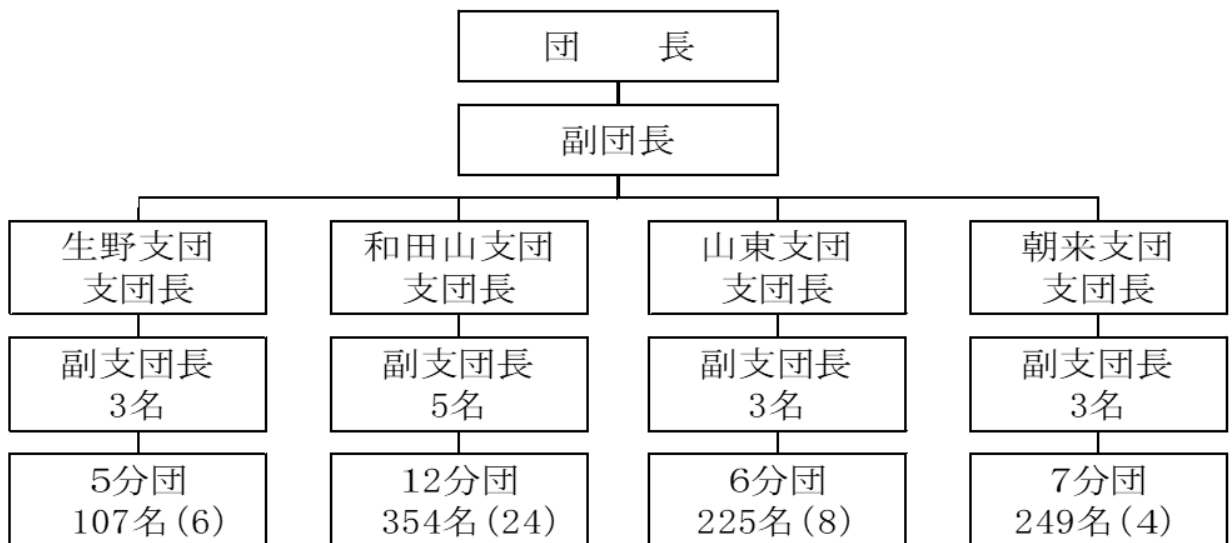
●養父市消防団組織図 (総員1,141名)



※氷ノ山鉢伏山山岳遭難救助隊は各方面隊との兼任を含む

() 内は女性団員

●朝来市消防団組織図 (総員955名)



() 内は女性団員

●令和3年度消防団との合同訓練

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため合同訓練実施が難しい状況でした。

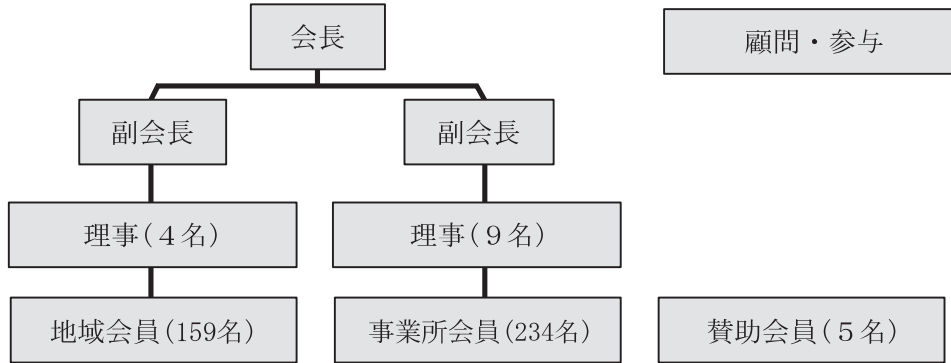
令和3年度消防団との合同訓練内容

養父市	11月14日	養父方面隊との合同訓練	養父市中米地
朝来市	合同訓練は、中止又は消防団のみで実施。		

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

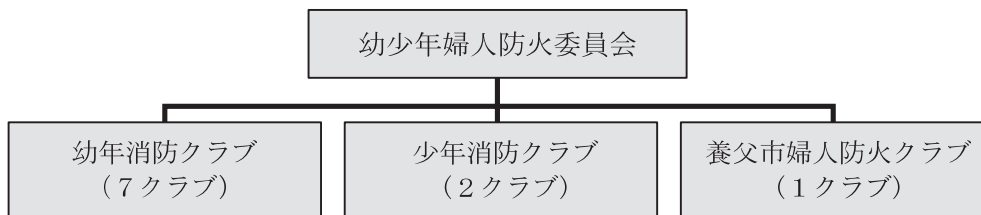
(令和4年4月1日現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

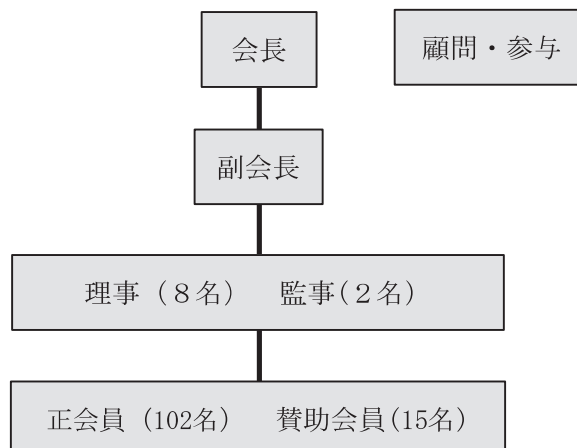
(令和4年4月1日現在)



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(令和4年4月1日現在)





多々良木ダム（朝来市）
写真提供：朝来市観光協会



杉ヶ沢高原（養父市）
写真提供：やぶ市観光協会

養父市・朝来市の安全をめざして (住宅用火災警報器を設置しましょう)

消防年報 第10号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田 436-1

TEL (079) 672-0119

FAX (079) 672-5046

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。